

令和 8 年度 第 1 回 朝日地域振興懇談会

日 時 令和 8 年 8 月 2 0 日 (木)

午後 6 時 3 0 分開会

場 所 朝日庁舎 2 階

第 1 ・ 2 ・ 3 会議室

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

(1) 令和 7 年度第 2 回朝日地域振興懇談会での意見への対応について 資料 1

(2) 「朝日地域住民意識調査」一次集計結果について 資料 2

4. 懇 談

(1) 令和 8 年度朝日庁舎主要事業について

・ 令和 8 年度朝日庁舎主要事業 資料 3 ～ 資料 5

・ 令和 8 年度朝日地域振興事業 資料 6

(2) その他

5. そ の 他

6. 閉 会

令和7年度第2回朝日地域振興懇談会での意見への対応について

資料1

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
1	豪雪地域雪下ろし支援事業について		
	・予算件数は30世帯分300万円計上しているが予算上限に達した時点で打ち切りなのか。補正予算を組むなどして、要望があれば400万円でも500万円でも対応するという考えなのか伺いたい。 ・雪下ろし費用は業者によって差があるが、費用が嵩む世帯では1回で10万円、2回委託すれば20万円かかっている。このような実情を分かっているのではないのか。 ・豪雪地域雪下ろし支援事業は家族構成を問わず申請できるか。また、3回目の雪下ろしでは周囲の排雪が必要になると思われるが、排雪経費も補助対象となるか。	豪雪地域雪下ろし支援事業は、年3回以上の雪下ろしが補助要件であることから、対象エリアは山間地の集落を想定しています。予算件数である30世帯については、令和6年度に実施した朝日地域全世帯のアンケート結果から、業者委託の割合、雪下ろし回数が3回以上の割合、業者委託の金額が10万円以上となる割合を基に算出しております。 令和8年度からの新規事業であり、申請件数がどのくらいになるか予測できませんが、申請件数が多く予算不足が見込まれる場合であっても申請受付の打ち切りはしないよう、対応したいと考えております。 令和6年度のアンケート結果によると、雪下ろしを業者委託した費用は、1回当たり3～5万円が約40%、10万円以上は約5%でありました。費用の設定はアンケート結果の平均とし、1回当たり5万円としております。なお、この金額には下ろした雪の処理費用は含まれておりません。 また、補助要件となる雪下ろし回数を仮に2回以上とした場合、対象エリアが朝日地域だけでなく、櫛引、温海、羽黒にまで拡大し、広範囲となります。そのため、負担がより大きい雪下ろし回数が3回以上の世帯を対象としております。 豪雪地域雪下ろし支援事業については世帯制限を設けず、日常使う車庫等も含めて幅広く対象とするほか、排雪経費も含むことができるよう検討してまいります。	地域づくり推進課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
2	ケーブルテレビの運用状況について		
	使用料の改定について報告があったが、料金が高くなることに伴い今後さらに加入数減少が進めば、運用も難しくなると思われる。現在の加入数の実態と今後の運用について伺いたい。	ケーブルテレビの加入状況は、櫛引地域と朝日地域を合わせると約2,800件で、そのうち朝日地域が約1,000世帯であり、朝日地域の全世帯に対する加入率は86%となっております。 加入者数の減少に加えて、人件費や諸経費が年々増加していることもあり、今回月額200円の増額を提案させていただきました。 ケーブルテレビは、今後も設備更新等を行いながら、運用を継続していきます。また、利用料金については、今後も社会経済状況等の動向を踏まえながら、必要に応じた改定を検討していくことになるものと考えます。	地域づくり推進課
3	公共交通について		
	高校生が通学に利用している「あさひバス」は利便性が低く、進学先の選択にも影響が出ていると感じる。早朝のバス運行やバス停までの距離、帰宅時間と部活動が合わないことなど、他の保護者からも改善を求める声が聞かれる。市街地との地域格差の解消に向けた何らかの通学支援や公共交通の改善に向けて市や協議会で検討していただきたい。	「あさひバス」は朝日地域公共交通運営協議会が主体となり、令和7年7月から実証運行を開始しましたが、朝の運行時間が早すぎることや、帰りの時間が部活動の終了時刻に合わないといったご意見をいただいております。 現在は庄内交通路線バスに接続する時刻設定としているため、運行時間の見直しには一定の制約がありますが、より利便性の高い運行を実現するには、朝日地域だけでなく市全体の公共交通の時間帯や運行方法について検討する必要があると考えております。 庄内交通においても、利用者に寄り添った運行に努めると伺っておりますので、いただいたご意見は交通事業者へお伝えするとともに、地域や交通事業者と協議を重ね、より利用しやすい公共交通となるよう検討してまいります。	地域づくり推進課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
4	鳥獣被害対策について		
	・クマの出没や被害の増加に対応するため、電気柵補助金の予算増額と、被害の多い地域への追い払い用花火の配布拡充をお願いしたい。 ・朝日地域の猟友会員が86名との説明があった。クマをはじめ有害鳥獣が各地で話題になっているが、実際この人数で朝日地域は事足りているのか、守りきれているのか実情を伺いたい。 また、会員は高齢者が多いと思われる。リタイアする前に若い方が資格や免許を取得するための補助や助成について、市の考えを伺いたい。 ・有害鳥獣の被害で一番大きいのはイノシシだと思う。畔を荒らされると重機でなければ再生できない。市で被害状況を把握しているか。	クマの出没や被害防止対策として有害捕獲許可を5月から許可して対応しているほか、電気柵補助金については、昨年度よりも予算を増額して申請を受け付け、今年度分はすでに予算上限額に達している状況です。 追い払いの花火はあくまでも試供品を提供しているもので、継続的な購入にあたっては、各自治会で鳥獣被害防止地域活動支援事業補助金を活用していただきたいと思います。 鶴岡市鳥獣被害防止計画に基づき対策を行っていることから、捕獲数を大幅に増やすことは難しいが、個体数維持のためにも、現在の会員数は妥当と考えております。 会員の90%以上が60歳以上であり、高齢化が進んでおります。免許取得や銃器の購入に関しては補助制度があり、令和7年度は猟銃免許所得支援事業を活用して3名が入会しております。 朝日地域では令和元年度頃からイノシシによる被害が確認され、捕獲数は令和6年度比で約31%増加しております。畔の被害に対して補助制度がありますが先着順となっているため、全て対応できていない状況です。令和7年度はミョウガの被害が大きく、大泉から砂川地区の畑が掘り返されるなど被害は拡大しております。有害鳥獣による被害の軽減に向け、電気柵の設置促進の取り組みをさらに進めてまいります。	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
4	鳥獣被害対策について		
	・新庁舎の検討時、朝日庁舎をデジタル化推進の拠点とし、サルやクマの出没情報を逐次伝える仕組みを検討するという話があったが、現時点では実現できていない。 有害鳥獣対策については、行政が地域ごとの対策会議を主導し、相談体制を構築することが重要である。狩猟免許取得のハードルを考慮し、わな猟免許を取得して活動してもらい、処分をベテランの会員が行うなどの分業体制の確立や、ガバメントハンターの雇用も検討してほしい。 畔の被害については交付金活動の補助対象になると聞いている。地域で話し合い重機等を使い復旧するなど、地域と行政が一体となって進めてほしい。	デジタル技術を活用した情報発信や有害鳥獣対策の充実は、中山間地域における安全・安心な暮らしを支える重要な取り組みであると認識しております。クマの出没情報については、現在市のHPでお知らせしておりますが、今後関係機関と連携しながら情報提供のあり方について検討してまいります。 また、有害鳥獣対策については、地域や猟友会、関係団体と連携し、相談体制や捕獲体制の充実や、担い手の確保・育成についても取り組むとともに、各種補助制度も活用しながら、地域と行政が連携して被害防止に取り組んでまいります。	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
5	大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業について		
	スターリンク(衛星通信機器)に関して、昨年チームWaGeShoでも大鳥池での実証実験に参加し、タキタロウ山荘でLINE電話などを行った。 大鳥池の登山客には以東岳へ行く人も多いが、将来的に以東岳にもスターリンクを設置する予定はあるか。 また、若い人からは「ネットが繋がってしまったら逆に魅力がなくなるのではないか」という声もあった。この点について市の考えを伺いたい。	以東岳は現状で大手キャリア(ドコモ・au)が概ね繋がる環境にあるため、当面は既存の通信網で対応いたします。将来的な安全管理上のニーズの高まりに応じて、設置の要否を再検討してまいります。 通信環境の整備が魅力消失に繋がるというご意見については、デジタル発信による新たな誘客、SNS等を用いた認知拡大のチャンスと捉え、令和8年度も実証実験を続けながら活用方法について検討を進めてまいります。	産業建設課
6	観光あいのリタクシー運行事業について		
	登山での利用はどの程度あるのか。	令和7年度は13回の運行で28名が利用しました。人数は限定的でしたが、遠方からの登山者が多く、重い装備を携えた登山客にとって不可欠な足となっております。 天候の影響を受けやすくキャンセルが多いという課題はあるものの、需要は確実に存在し、問い合わせも増加傾向にあります。西川町や朝日町からの縦走者も利用しており、登山者にとって有効な移動手段となっていることから、令和8年度も実証実験を続けながら今後の観光二次交通について検討を進めてまいります。	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
7	危険空き家の対応について		
	・この冬は雪の影響で倒壊している建物が非常に多く見られる。落合地区にも多くあり、寂れて見える。所有者が対応すべきこととは思いますが、経費の問題や連絡がつかないケースもある。自治会だけでは力が足りないため、行政で協力していただけないか。クマの住処になることも不安である。 ・「倒れてから」の対応という認識だが、道路脇で明らかに危険な建物も実際にある。そのような場合の事前対応は可能なのか。	倒壊の危険があると判断された空き家については、必要な措置を行うよう所有者に指導・勧告等を行っているほか、地域の方々から問題の連絡があったものについても、その都度文書等により適切な管理をお願いしているところですが、様々な事情により、なかなか解体等が進まないのが現状です。 なお、所有者本人に対応していただくことが基本ですが、管理不全の空き家が人の生命、身体又は財産に対し危害が切迫した場合は、条例により、市民の安全を確保するための必要最小限の応急措置を市が行う場合があります(費用は所有者に請求されます)。 また、危険空き家の除却に対し、住宅の所有者等が行う場合は最大50万円、地域団体等が行う場合は最大75万円、空き家の立木の伐採や除草にかかる費用に対し最大10万円の補助を行っております。	地域づくり推進課
8	産直あさひ・グーの冷暖房設備について		
	笹巻づくりの講師をしているが、産直あさひ・グーの2階に冷暖房がなく、参加者から不満が上がっている。 今後、食文化創造都市推進課の事業として40～50名程度の観光客受け入れが予定されているが、対応に苦慮している。朝日中央コミュニティセンターや健康の里ふっくらの調理室もあるが、空調や広さの面で課題がある。 今後の受け入れを見据え、特に「産直あさひ・グー」の2階施設に冷暖房設備をつけてほしい。	40～50人規模であれば、産直あさひ・グーが適していると思われます。産直あさひ・グーを使用する場合は、空調が効いている食堂や和室を活用することをお勧めします。その際は庁舎または産直あさひ・グーに相談してください。 施設2階への冷暖房設備の設置につきましては、施設全体の修繕項目との緊急性や優先度を精査し、検討してまいります。	産業建設課

No.	委員意見	意見に対する対応	担当課
9	燃料等物価高騰の影響について		
	過疎化や少子化の中、デマンド化や除雪事業にも予算が割かれているが、燃料高騰等を踏まえると、将来的に予算が付かなくなる事業が出るのではないかという不安がある。現在の支援や助成がなくなるのは困る。	物価高騰などの影響により、今後も厳しい財政状況が続くことが想定されますが、地域の実情を踏まえ、事業の効果や優先順位を十分に検証しながら、必要な支援が継続できるよう努めてまいります。	地域づくり推進課
10	高齢者等雪下ろし費用補助事業について		
	・1回あたりの補助額が16,500円、令和7年度は77件の実績とのことだが、利用者への聞き取りなどは行っているか。支援が十分なのか不足なのか検証が必要である。 ・雪下ろしは業者に頼むと1人1時間3,000円、1日5人で10万円を超える。大網地区などの相場と比べ、補助額の設定が実情とかけ離れていると感じる。	高齢者等雪下ろし費用補助事業は、朝日地域の活用が市全体の7割以上を占める重要な支援であり、令和4年度には事業の実施状況や利用者の負担等を踏まえ、1回あたりの補助額を500円増額する見直しを行いました。 また、車庫や蔵も対象にしてほしいとの要望があることも承知しておりますが、本事業は人命の安全確保や福祉の観点から必要な支援として実施しているものであり、限られた財源の中で真に支援を必要とする対象に重点的に対応する必要があることから、補助対象の拡大には慎重な検討が必要と考えております。 今後も利用者や関係者からのご意見、事業の実施状況、物価動向などを踏まえ、必要に応じて見直しを検討してまいります。	地域づくり推進課

「朝日地域住民意識調査」一次集計結果について

1. 調査の目的

本調査は、朝日地域にお住まいのみなさんが安心して暮らし続けるために必要な支援や、地域の実情に応じた課題を整理し、今後の施策や事業の検討を進める際の参考として活用することを目的としています。

2. 調査の概要

- ・ 調査対象 令和8年6月26日現在、朝日地域に住民登録している中学生以上の方
- ・ 対象人数 2,857人（一般2,726人、高校生年代74人、中学生57人）
- ・ 調査期間 令和8年7月1日から7月31日
- ・ 調査方法 郵送回答またはインターネット回答
- ・ 回答者数 1,467人（一般1,387人、高校生年代32人、中学生48人）
※うち、インターネットによる回答は391人
- ・ 回収率 51.3%（一般50.9%、高校生年代43.2%、中学生84.2%）

3. 一次集計の表記

7月31日までに到着した回答（1,467件）について、各設問の選択肢別回答数を単純集計しています。

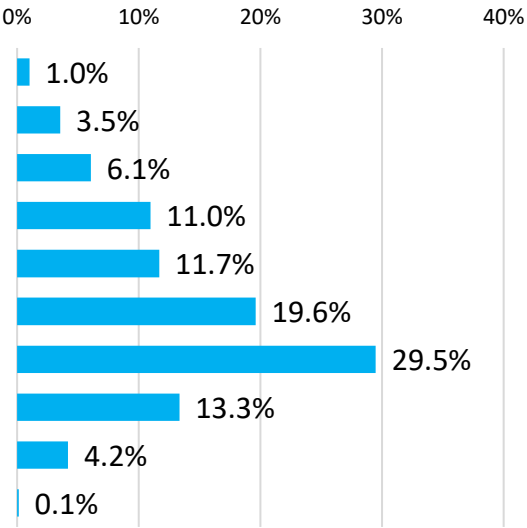
- ・ 全回答者数を分母とし、無回答を含めて集計しています。
- ・ 割合は、小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答の質問の場合、回答比率の合計は100%を超えます。
- ・ 表中の「n」とは、無回答を含むその質問への回答者数を表します。
- ・ 自由記載については、現在整理・分析中のため、今回の一次集計結果には掲載していません。

朝日地域住民意識調査 一次集計結果(一般用)

問1 年代 (〇は1つ)

n= 1,387

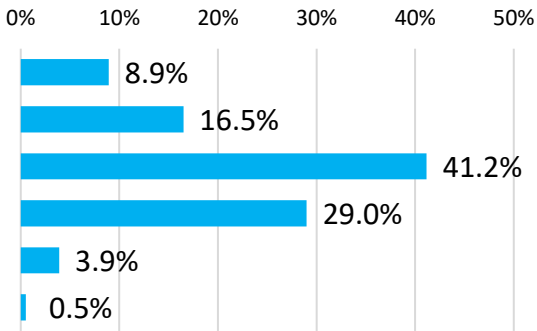
		紙	Q R	計
1	10歳代	4	10	14
2	20歳代	21	28	49
3	30歳代	40	44	84
4	40歳代	60	92	152
5	50歳代	93	69	162
6	60歳代	224	48	272
7	70歳代	389	20	409
8	80歳代	176	9	185
9	90歳代以上	55	3	58
無	無回答	2	0	2
合 計		1,064	323	1,387



問2 世帯構成 (〇は1つ)

n= 1,387

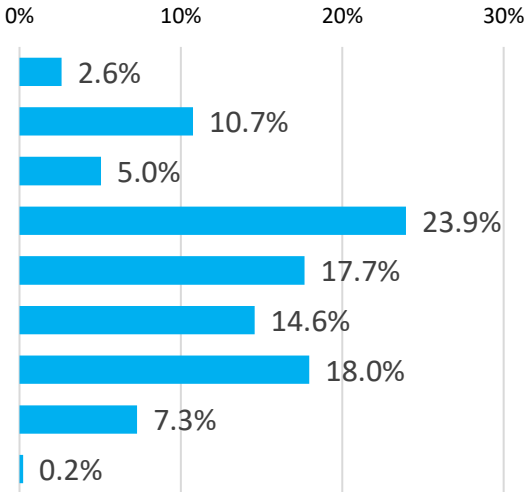
		紙	Q R	計
1	ひとり暮らし	111	13	124
2	夫婦のみ	202	27	229
3	親と子 (二世帯世帯)	425	146	571
4	親・子・孫 (三世帯以上世帯)	266	136	402
5	その他	53	1	54
無	無回答	7	0	7
合 計		1,064	323	1,387



問3 お住まいの地区 (〇は1つ)

n= 1,387

		紙	Q R	計
1	大鳥	30	6	36
2	大泉	130	19	149
3	大針	48	22	70
4	本郷 (落合含む)	262	70	332
5	名川	188	57	245
6	熊出	140	62	202
7	東岩本	189	60	249
8	大網 (田麦俣含む)	74	27	101
無	無回答	3	0	3
合 計		1,064	323	1,387

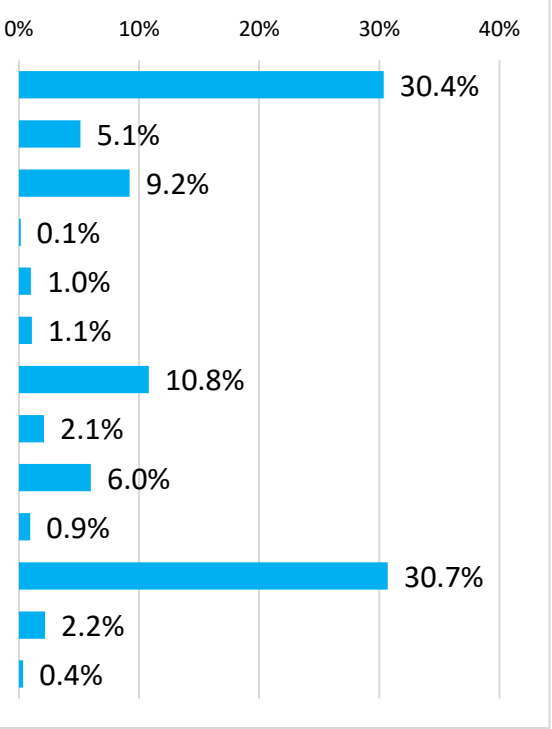


朝日地域住民意識調査 一次集計結果(一般用)

問4 職業（○は1つ）

n= 1,387

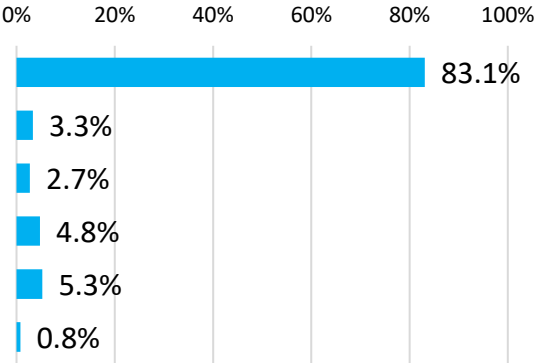
		紙	Q R	計
1	会社員・公務員	228	193	421
2	自営業	57	14	71
3	農業	120	8	128
4	林業	2	0	2
5	農林業との兼業	9	5	14
6	会社役員	11	4	15
7	パート・アルバイト	106	44	150
8	家業従事者 (家族の事業を手伝っている)	26	3	29
9	専業主婦・主夫	73	10	83
10	学生	3	10	13
11	無職	396	30	426
12	その他	28	2	30
無	無回答	5	0	5
合 計		1,064	323	1,387



問5 自動車運転免許（○は1つ）

n= 1,387

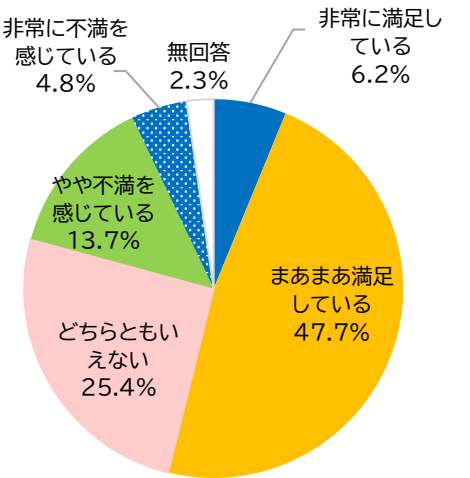
		紙	Q R	計
1	運転免許を持っている	849	304	1,153
2	5年以内に返納を検討	43	3	46
3	10年以内に返納を検討	36	2	38
4	運転免許を返納した	61	5	66
5	運転免許を持っていない	64	9	73
無	無回答	11	0	11
合 計		1,064	323	1,387



問6 現在の生活に満足していますか。（○は1つ）

n= 1,387

		紙	Q R	計
1	非常に満足している	64	22	86
2	まあまあ満足している	518	143	661
3	どちらともいえない	255	97	352
4	やや不満を感じている	143	47	190
5	非常に不満を感じている	52	14	66
無	無回答	32	0	32
合 計		1,064	323	1,387

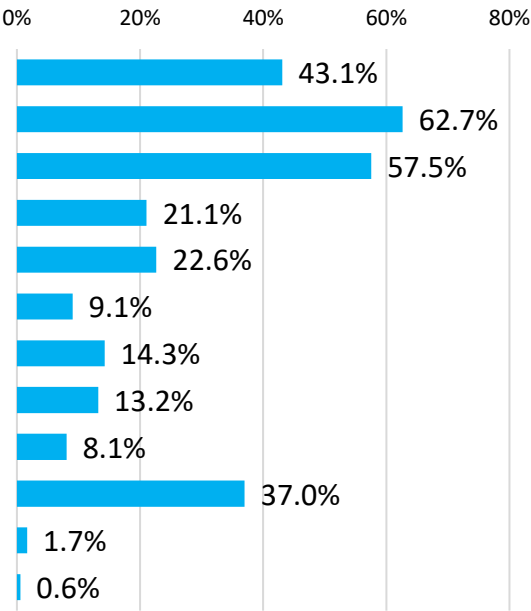


朝日地域住民意識調査 一次集計結果(一般用)

問7 朝日地域の魅力は何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n= 1,387

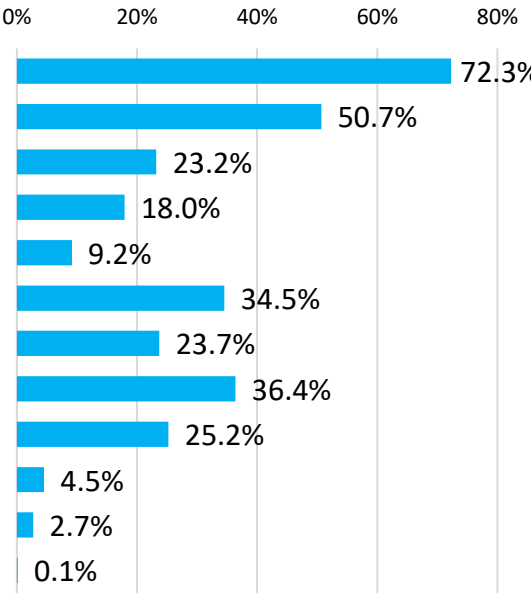
		紙	Q R	計
1	住民同士の支えあい・たすけあい	461	137	598
2	景観・自然	634	235	869
3	山菜・きのこ等の山の恵み	614	184	798
4	農業・農産物	201	91	292
5	郷土料理や食文化 (とちもち・笹巻き等)	215	99	314
6	神社・仏閣、文化財	81	45	126
7	スキー場などのレジャー施設	113	85	198
8	道の駅や産直施設	136	47	183
9	伝統芸能やお祭り	64	48	112
10	治安のよさ	367	146	513
11	その他	21	2	23
無	無回答	8	0	8
合 計		2,915	1,119	4,034



問8 現在の生活で不安を感じていることは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n= 1,387

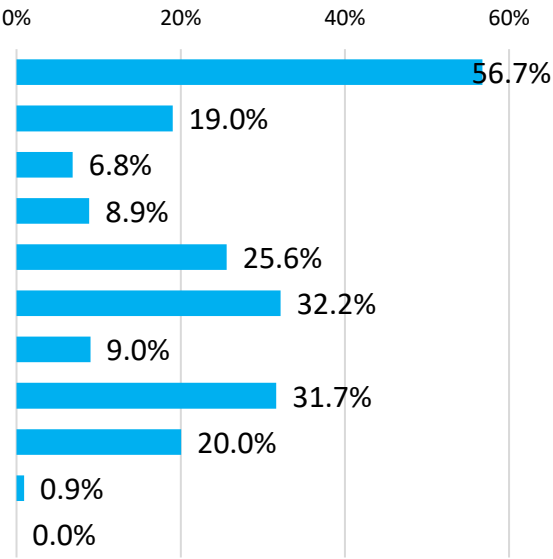
		紙	Q R	計
1	屋根の雪下ろし、除雪	774	229	1,003
2	鳥獣被害	502	201	703
3	買い物、通院の移動手段	228	94	322
4	災害時対応	183	66	249
5	近所づきあい	94	33	127
6	地域の担い手不足	342	137	479
7	医療・福祉サービス	243	86	329
8	自分(家族)の健康状態	421	84	505
9	仕事・収入	245	105	350
10	特にない	51	12	63
11	その他	31	7	38
無	無回答	2	0	2
合 計		3,116	1,054	4,170



問9 地域の活動の中で、負担が大きいと感じるものは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n= 1, 387

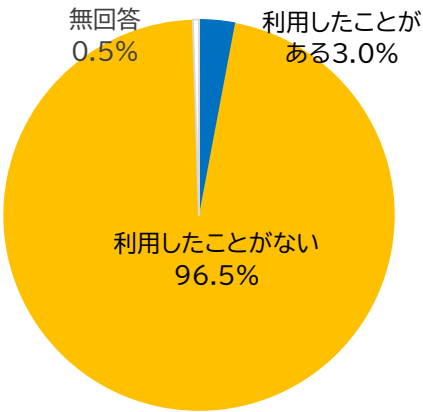
		紙	Q R	計
1	道路の草刈り、水路の清掃・維持管理	620	167	787
2	公民館の維持管理	179	85	264
3	防災訓練や防災活動	64	31	95
4	消防団活動	68	55	123
5	地域行事の準備・運営	240	115	355
6	寺・神社の維持管理	332	114	446
7	ごみステーションの管理(掃除・除雪等)	98	27	125
8	地域の役員・会議への参加	297	142	439
9	特にない	208	70	278
10	その他	8	5	13
無	無回答	0	0	0
合 計		2, 114	811	2, 925



問10 朝日地域公共交通「あさひバス」・「あさひデマンドカー」を利用したことがありますか。(○は1つ)

n= 1, 387

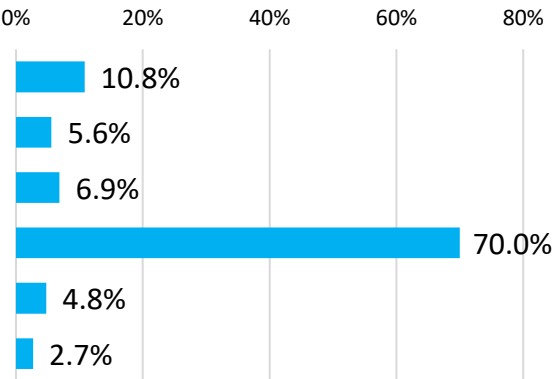
		紙	Q R	計
1	利用したことがある	38	3	41
2	利用したことがない	1, 019	320	1, 339
無	無回答	7	0	7
合 計		1, 064	323	1, 387



問11 問10で「2. 利用したことがない」と答えた方におたずねします。
その理由をおしえてください。(○は1つ)

n= 1, 339

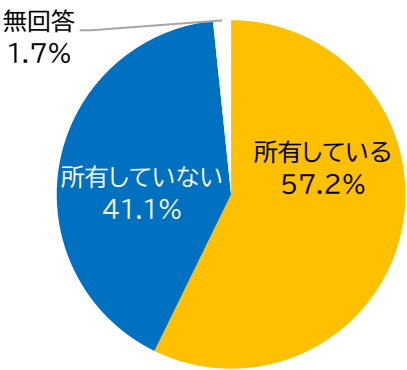
		紙	Q R	計
1	そもそも知らない	90	55	145
2	利用方法がわからない	65	10	75
3	利用したい時間帯・行き先に運行していない	80	12	92
4	利用する必要がない	704	233	937
5	その他	60	4	64
無	無回答	30	6	36
合 計		1, 029	320	1, 349



朝日地域住民意識調査 一次集計結果(一般用)

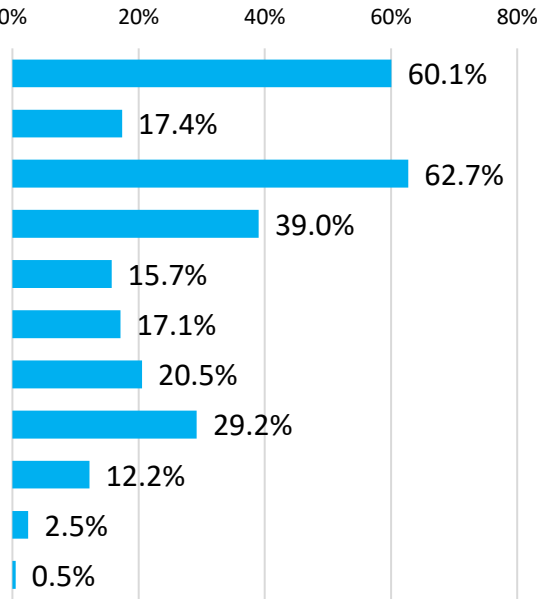
問12 あなたは農地や山林を所有していますか。
(○は1つ) n= 1,387

		紙	Q R	計
1	所有している	645	149	794
2	所有していない	396	174	570
無	無回答	23	0	23
合 計		1,064	323	1,387



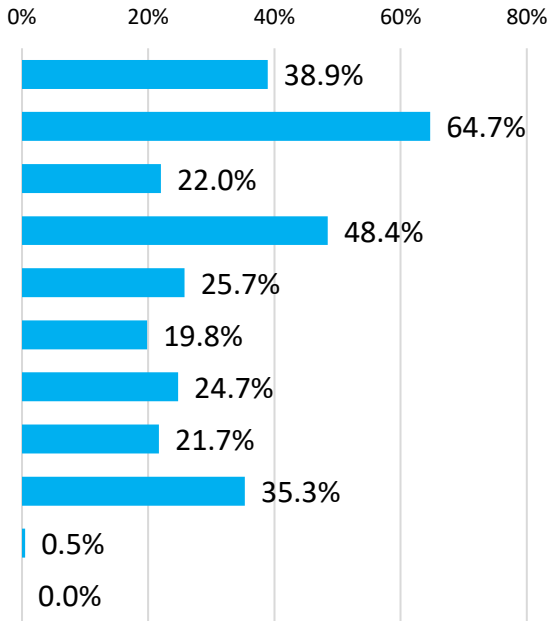
問13 問12で「1. 所有している」と答えた方におたずねします。
農地や山林の管理についての課題は何ですか。
(あてはまるもの全てに○) n= 794

		紙	Q R	計
1	高齢化や後継者不在による管理 する人手不足	383	94	477
2	隣接農地の管理不備	107	31	138
3	草刈りや伐採などの作業負担	400	98	498
4	鳥獣被害	249	61	310
5	管理費用	92	33	125
6	所有地が遠方にあり管理しづらい	114	22	136
7	相続や権利関係の整理が難しい	119	44	163
8	そもそも場所がわからない	175	57	232
9	管理しようと思っていない	81	16	97
10	その他	18	2	20
無	無回答	2	2	4
合 計		1,740	460	2,200



問14 5年後または10年後を考えたときに不安を感じることは何ですか。
(○は3つまで) n= 1,387

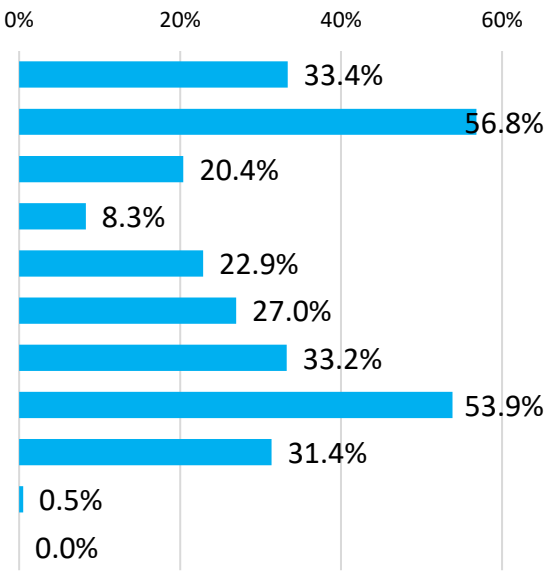
		紙	Q R	計
1	自動車の運転ができなくなること	478	62	540
2	除雪・雪下ろし	689	208	897
3	ひとり暮らしや高齢者のみの世帯 の生活	234	71	305
4	自分の健康状態	554	118	672
5	家族のこと (介護、子どもの進路 等)	208	149	357
6	地域活動の担い手不足	162	113	275
7	農地や山林の管理が難しくなること	253	90	343
8	仕事や収入の確保	198	103	301
9	住宅等の修繕費や建替費用の負担など 所有する建物・土地の維持管理	342	148	490
10	その他	2	5	7
無	無回答	0	0	0
合 計		3,120	1,067	4,187



問15 5年後、10年後にどのような地域であってほしいと思いますか。
(○は3つまで)

n= 1, 387

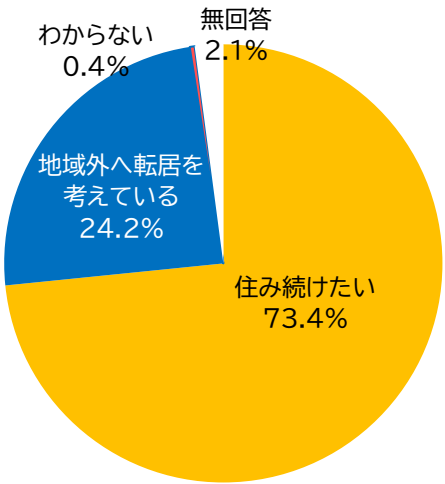
	紙	Q R	計
1 たすけあいのある地域	376	87	463
2 若い世代が住み続けられる地域	575	213	788
3 子育てしやすい地域	166	117	283
4 地域行事や伝統文化が続く地域	68	47	115
5 農地や自然が守られる地域	234	83	317
6 働く場がある地域	272	102	374
7 公共交通が確保される地域	339	122	461
8 除排雪体制が整っている地域	560	187	747
9 医療環境が整っている地域	344	91	435
10 その他	3	4	7
無 無回答	0	0	0
合 計	2, 937	1, 053	3, 990



問16 今後も朝日地域に住み続けたいと思いますか。
(○は1つ)

n= 1, 387

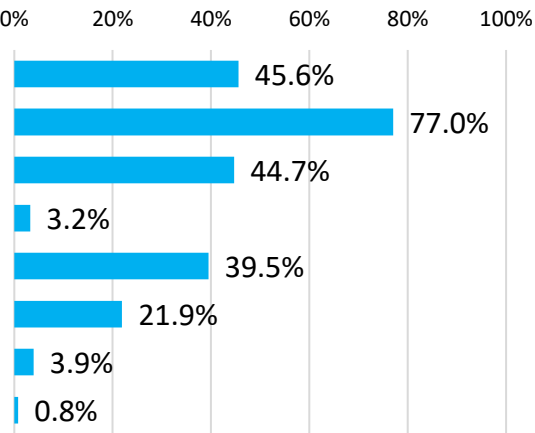
	紙	Q R	計
1 住み続けたい	807	211	1, 018
2 地域外へ転居を考えている	223	112	335
3 その他 (わからない)	5	0	5
無 無回答	29	0	29
合 計	1, 064	323	1, 387



問17 問16で「1. 住み続けたい」と答えた方におたずねします。
その理由をおしえてください。(あてはまるもの全てに○)

n= 1, 018

	紙	Q R	計
1 先祖代々の土地を守りたいから	378	86	464
2 住み慣れた場所だから	640	144	784
3 家族や地域の人とのつながりがあるから	355	100	455
4 地域での役割にやりがいを感じるから	18	15	33
5 山の恵みや家庭菜園など自給自足的な暮らしができるから	351	51	402
6 田舎暮らしが好きだから	175	48	223
7 その他	31	9	40
無 無回答	4	4	8
合 計	1, 952	457	2, 409

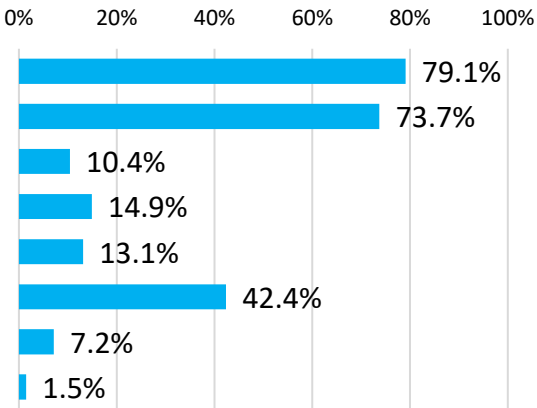


朝日地域住民意識調査 一次集計結果(一般用)

問18 問16で「2. 地域外へ転居を考えている」と答えた方におたずねします。
その理由をおしえてください。（あてはまるもの全てに○）

n= 335

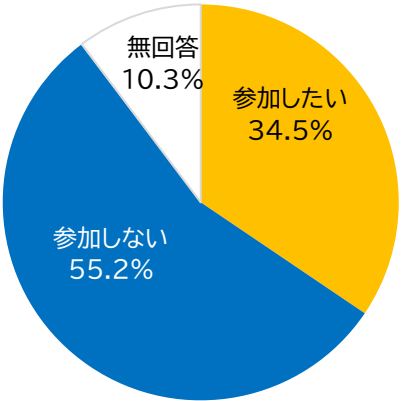
		紙	Q R	計
1	除雪の負担が軽くなる	175	90	265
2	買い物や通院、通勤、通学が便利	159	88	247
3	子育て環境の充実が期待できる	17	18	35
4	市街地に住む家族親族と暮らしたい	38	12	50
5	適度な近所づきあいができる	23	21	44
6	住宅の事情(住み替え, 老朽化等)	92	50	142
7	その他	12	12	24
無	無回答	3	2	5
合 計		519	293	812



問19 地域について話し合う機会があれば参加しますか。
（○は1つ）

n= 1, 387

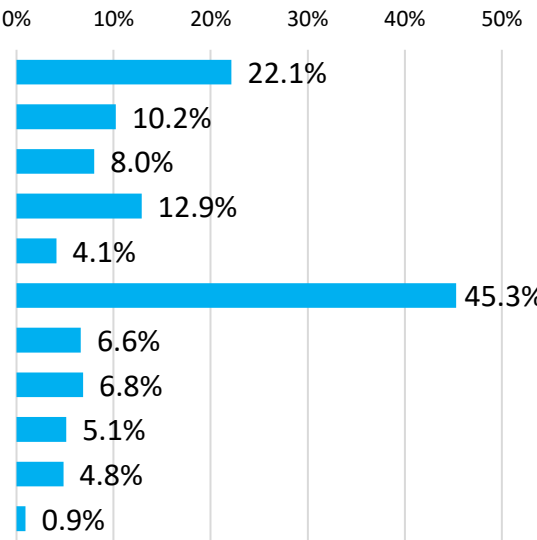
		紙	Q R	計
1	参加したい	368	109	477
2	参加しない	550	214	764
3	その他（両方に○）	1	0	1
無	無回答	142	0	142
合 計		1, 061	323	1, 384



問20 地域の一員として協力できること（既に行っていること）はありますか。
（あてはまるもの全てに○）

n= 1, 387

		紙	Q R	計
1	除雪の協力	225	82	307
2	買い物代行	92	50	142
3	移動支援	64	47	111
4	高齢者・子どもの見守り活動	109	70	179
5	SNS等による地域の情報発信	10	47	57
6	行事への参加協力	446	182	628
7	伝統芸能や地域の歴史・文化の継承	60	32	92
8	郷土料理・食文化の継承	65	30	95
9	スマホ・パソコンの使い方を教えること	16	55	71
10	その他	46	21	67
無	無回答	13	0	13
合 計		1, 146	616	1, 762



問21 今後も安心して暮らし続けるために必要だと思うことや、
地域で大切にしていきたいことなど自由に記入してください（自由記載）

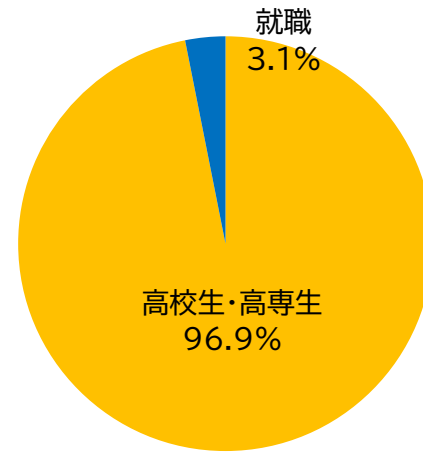
※整理・分析中のため掲載していません。

朝日地域住民意識調査 一次集計結果(高校生年代用)

問1 現在の状況をおしえてください。(○は1つ)

n= 32

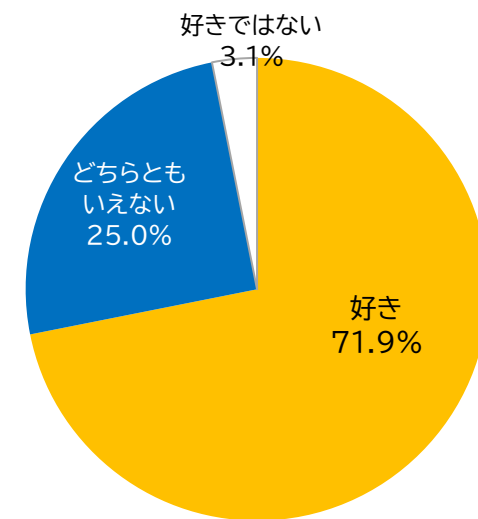
		紙	Q R	計
1	高校生・高専生	7	24	31
2	就職している	0	1	1
3	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		7	25	32



問2 あなたは朝日地域が好きですか。(○は1つ)

n= 32

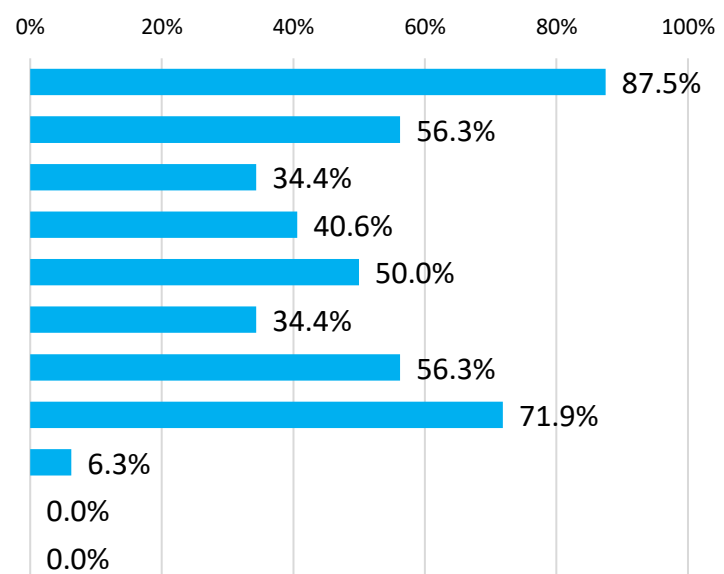
		紙	Q R	計
1	好き	6	17	23
2	どちらともいえない	1	7	8
3	好きではない	0	1	1
無	無回答	0	0	0
合 計		7	25	32



問3 朝日地域の魅力だと感じることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

n= 32

		紙	Q R	計
1	自然が豊かで空気や水がきれい	7	21	28
2	地域の人のがたたかさ	1	17	18
3	地域の行事や祭り	0	11	11
4	食べ物がおいしい	2	11	13
5	スキー場などのレジャー施設	3	13	16
6	安全・安心に暮らせる	2	9	11
7	友だちや知り合いが多い	4	14	18
8	静かで落ち着いた環境	7	16	23
9	特にない	0	2	2
10	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		26	114	140



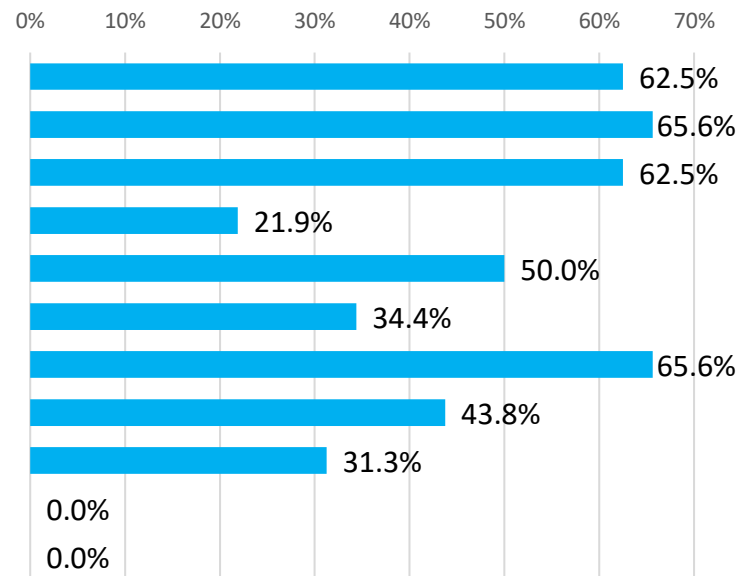
朝日地域住民意識調査 一次集計結果(高校生年代用)

問4 朝日地域での生活で困っていることや不便だと思うことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

n= 32

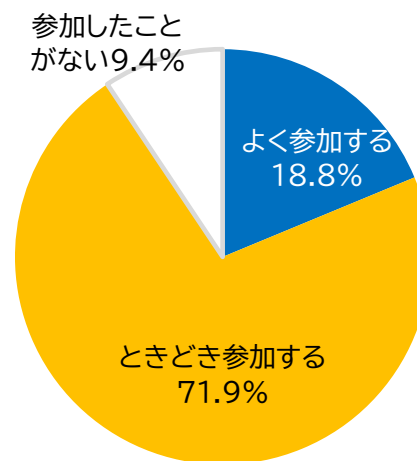
		紙	Q R	計
1	買い物をする場所が少ない	5	15	20
2	遊ぶ場所が少ない	7	14	21
3	公共交通（バス）が不便	5	15	20
4	塾や習い事の選択肢が少ない	3	4	7
5	冬の生活（除雪や家族の送迎負担など）	4	12	16
6	夜道が暗いなど通学時の安全面が不安	4	7	11
7	通学に時間がかかる	6	15	21
8	友達と集まれる場所が少ない	5	9	14
9	同年代の子どもや若者が少ない	1	9	10
10	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		40	100	140



問5 地域の行事や活動に参加していますか。（○は1つ）

n= 32

		紙	Q R	計
1	よく参加する	1	5	6
2	ときどき参加する	4	19	23
3	参加したことがない	2	1	3
無	無回答	0	0	0
合 計		7	25	32

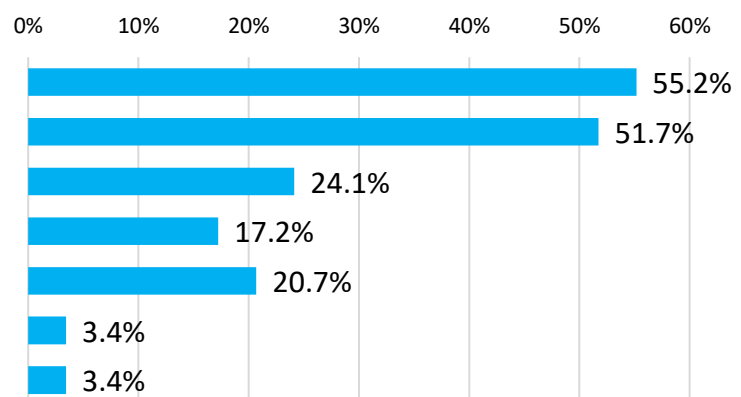


問6 問5で「1. よく参加する」、「2. ときどき参加する」と答えた方におたずねします。

参加してよかったと思うことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

n= 29

		紙	Q R	計
1	楽しかった	3	13	16
2	地域の人と交流できた	1	14	15
3	地域のことを知ることができた	1	6	7
4	地域に愛着がわいた	0	5	5
5	地域の役に立てたと感じた	0	6	6
6	その他（特になし）	0	1	1
無	無回答	0	1	1
合 計		5	46	51

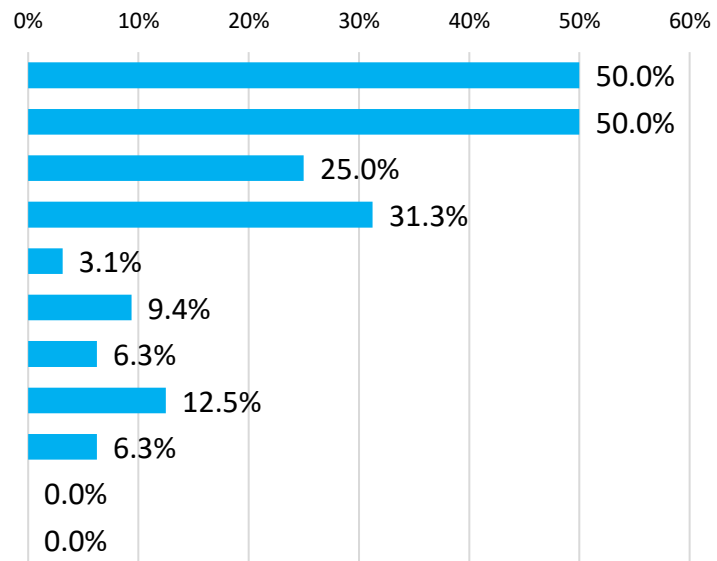


朝日地域住民意識調査 一次集計結果(高校生年代用)

問7 あなたが参加してみたい（参加している）地域の活動は何ですか。
（あてはまるもの全てに○）

n= 32

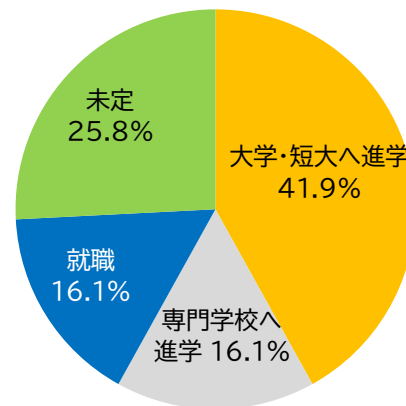
		紙	Q R	計
1	お祭りやイベントの運営補助	1	15	16
2	スポーツ・レクリエーション活動	3	13	16
3	清掃などのボランティア活動	0	8	8
4	自然体験活動	2	8	10
5	伝統芸能の練習や発表	0	1	1
6	地域の歴史や文化財を学ぶ活動	0	3	3
7	郷土料理や食文化を学ぶ活動	0	2	2
8	高齢者など他の世代の人との交流	0	4	4
9	農業・林業などの体験活動	0	2	2
10	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		6	56	62



問8 問1で「1. 高校生・高専生」と答えた方におたずねします。
卒業後の進路について、どのように考えていますか。（○は1つ）

n= 31

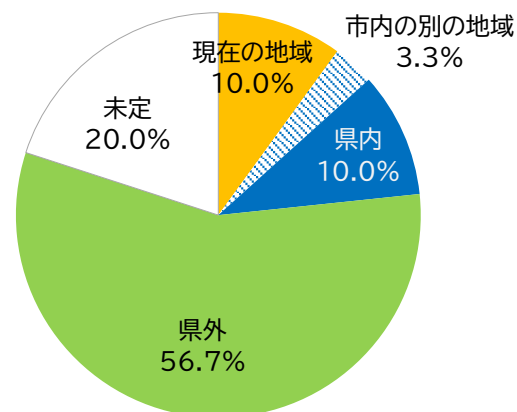
		紙	Q R	計
1	大学・短大へ進学	4	9	13
2	専門学校へ進学	0	5	5
3	就職	2	3	5
4	未定	1	7	8
5	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		7	24	31



問9 大学や専門学校などを卒業後はどこで生活したいと考えていますか。（○は1つ）

n= 31

		紙	Q R	計
1	現在の地域	1	2	3
2	市内の別の地域	0	1	1
3	県内	0	3	3
4	県外	4	13	17
5	未定	1	5	6
無	無回答	0	0	0
合 計		6	24	30



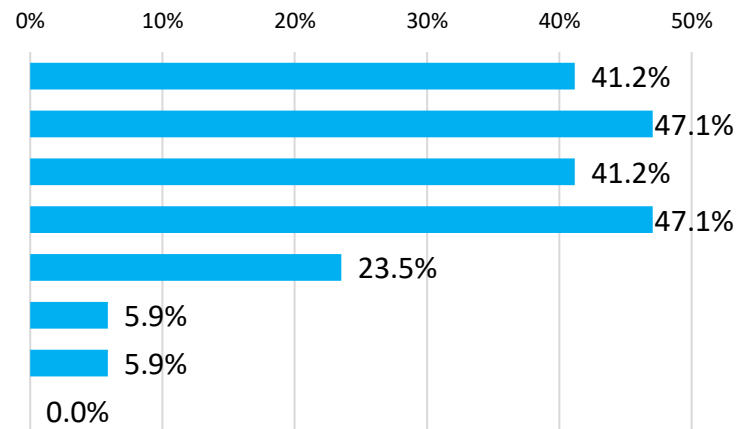
朝日地域住民意識調査 一次集計結果(高校生年代用)

問10 問9で「4. 県外」と答えた方におたずねします。

その場所を希望する理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

n= 17

		紙	Q R	計
1	希望する学校があるから	2	5	7
2	希望する仕事があるから	2	6	8
3	収入が期待できるから	2	5	7
4	交通や買い物が便利だから	2	6	8
5	多くの人と交流できるから	0	4	4
6	商業施設や娯楽を楽しめる場所が多いから	0	1	1
7	その他（安全だから）	0	1	1
無	無回答	0	0	0
合 計		8	28	36

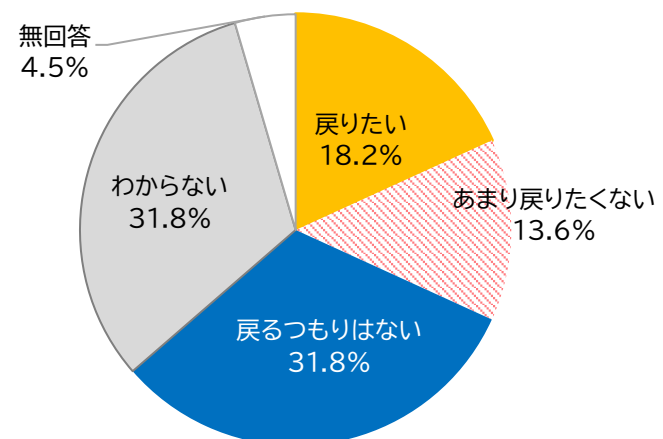


問11 問9で「2. 市内の別の地域」、「3. 県内」、「4. 県外」と答えた方におたずねします。

将来、朝日地域に戻って暮らしたいと思いますか。（○は1つ）

n= 22

		紙	Q R	計
1	戻りたい	1	3	4
2	あまり戻りたくない	0	3	3
3	戻るつもりはない	2	5	7
4	わからない	2	5	7
無	無回答	0	1	1
合 計		5	17	22



問12 問11で「1. 戻りたい」と答えた方におたずねします。

その理由をお書きください。（自由記載）

※整理・分析中のため掲載していません。

問13 問11で「2. あまり戻りたくない」、「3. 戻るつもりはない」と答えた方におたずねします。

その理由をお書きください。（自由記載）

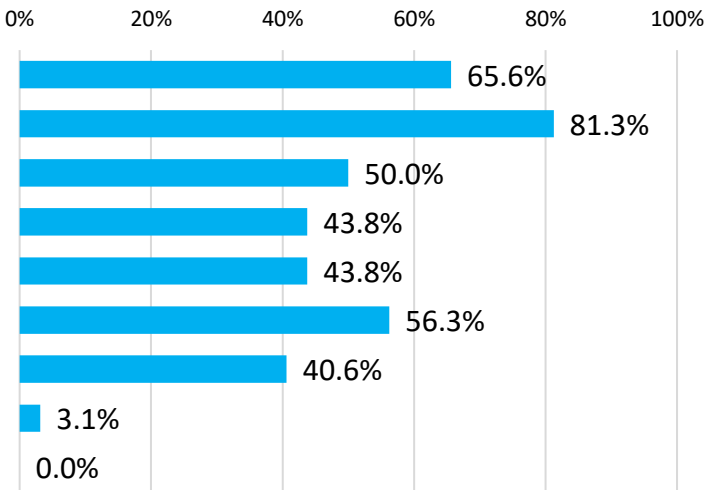
※整理・分析中のため掲載していません。

朝日地域住民意識調査 一次集計結果(高校生年代用)

問14 将来、朝日地域に住みたい・戻ってきたいと思うためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

n= 32

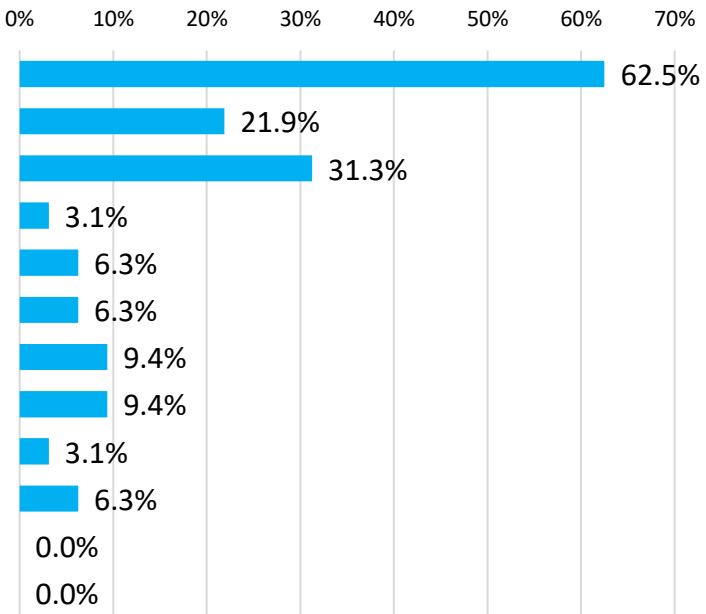
		紙	Q R	計
1	働く場所があること	5	16	21
2	買い物や交通が便利なこと	5	21	26
3	医療や福祉が充実していること	2	14	16
4	子育てしやすいこと	3	11	14
5	雪への対策が充実していること	5	9	14
6	趣味や娯楽を楽しめる場所があること	5	13	18
7	若者の交流の場があること	2	11	13
8	その他（特になし）	0	1	1
無	無回答	0	0	0
合 計		27	96	123



問15 問9で「2. 市内の別の地域」、「3. 県内」、「4. 県外」と答えた方におたずねします。
将来、朝日地域とどのようにして関わろうと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

n= 32

		紙	Q R	計
1	実家や親族の家に帰省する	4	16	20
2	地域の祭りやイベントに参加する	1	6	7
3	地域の友人・知人とのつながりを持ち続け	1	9	10
4	地域の情報をSNSなどで発信する	1	0	1
5	地域産品を購入する	1	1	2
6	地域のボランティア活動に参加する	0	2	2
7	二拠点生活	0	3	3
8	地域の仕事や家業	0	3	3
9	家の農地や山林などの管理	0	1	1
10	特に考えていない	0	2	2
11	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		8	43	51



問16 10年後の朝日地域がどのような地域になってほしいと思いますか。（自由記載）
※整理・分析中のため掲載していません。

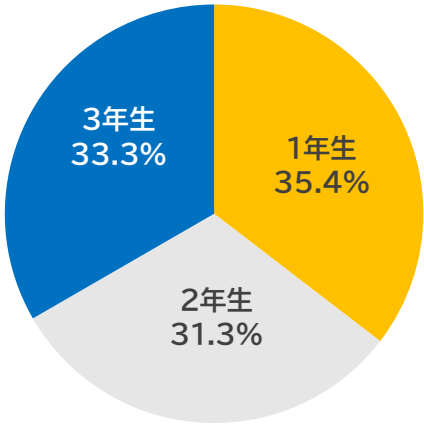
問17 地域の課題や、もっと改善してほしいと思うこと、若い世代が暮らし続けるために必要なことなど、よりよい地域にするためのアイデアを自由に書いてください。（自由記載）
※整理・分析中のため掲載していません。

朝日地域住民意識調査 一次集計結果(中学生用)

問1 あなたの学年をおしえてください（○は1つ）

n= 48

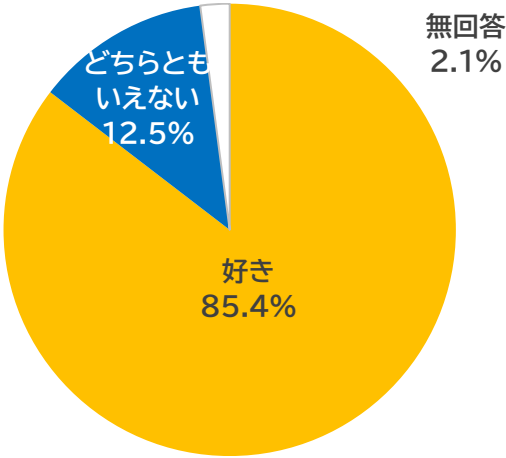
		紙	Q R	計
1	1 年生	4	13	17
2	2 年生	1	14	15
3	3 年生	0	16	16
無	無回答	0	0	0
合 計		5	43	48



問2 あなたは朝日地域が好きですか。（○は1つ）

n= 48

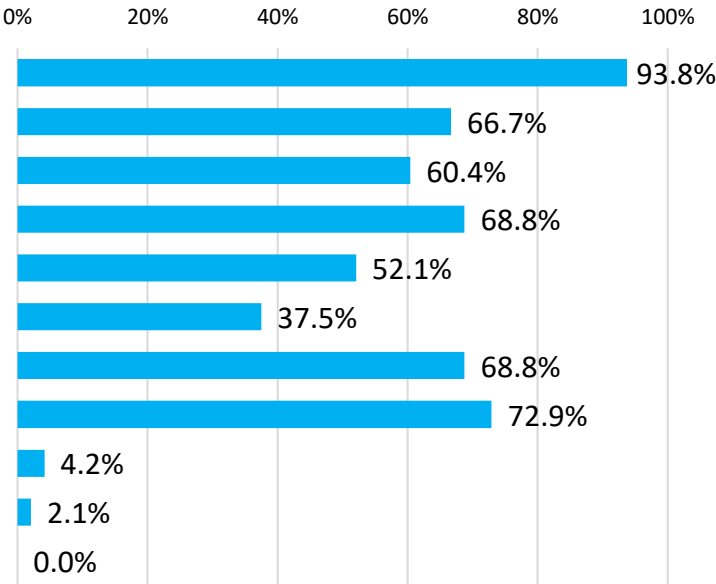
		紙	Q R	計
1	好き	4	37	41
2	どちらともいえない	0	6	6
3	好きではない	0	0	0
無	無回答	1	0	1
合 計		5	43	48



問3 朝日地域の魅力だと感じることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

n= 48

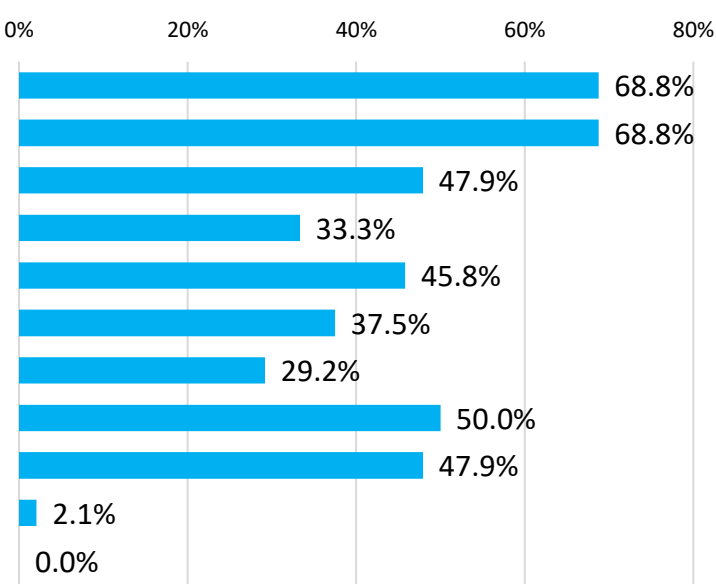
		紙	Q R	計
1	自然が豊かで空気や水がきれい	4	41	45
2	地域の人のがたたかさ	3	29	32
3	地域の行事や祭り	3	26	29
4	食べ物がおいしい	2	31	33
5	スキー場などのレジャー施設	3	22	25
6	安全・安心に暮らせる	1	17	18
7	友達や知り合いが多い	3	30	33
8	静かで落ち着いた環境	3	32	35
9	特にな	1	1	2
10	その他	0	1	1
無	無回答	0	0	0
合 計		23	230	253



朝日地域住民意識調査 一次集計結果(中学生用)

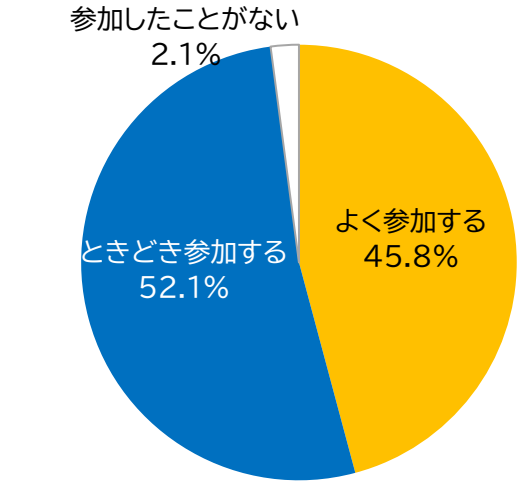
問4 朝日地域での生活で困っていることや不便だと思うことは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

n= 48			
	紙	Q R	計
1 買い物をする場所が少ない	4	29	33
2 遊ぶ場所が少ない	2	31	33
3 公共交通（バス）が不便	2	21	23
4 部活動や習い事の選択肢が少ない	2	14	16
5 冬の生活(除雪、徒歩通学、家族の送迎負担など)	3	19	22
6 夜道が暗いなど通学時の安全面が不安	3	15	18
7 通学に時間がかかる	3	11	14
8 友達と集まれる場所が少ない	2	22	24
9 同年代の子どもや若者が少ない	2	21	23
10 その他	0	1	1
無 無回答	0	0	0
合 計	23	184	207



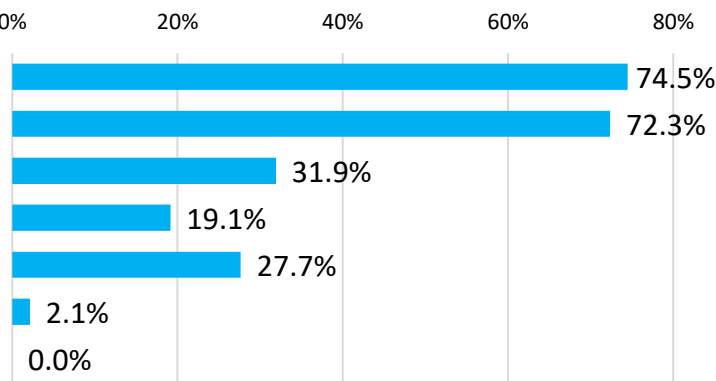
問5 地域の行事や活動に参加していますか。（○は1つ）

n= 48			
	紙	Q R	計
1 よく参加する	2	20	22
2 ときどき参加する	3	22	25
3 参加したことがない	0	1	1
無 無回答	0	0	0
合 計	5	43	48



問6 問5で「1. よく参加する」、「2. ときどき参加する」と答えた方におたずねします。
参加してよかったと思うことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

n= 47			
	紙	Q R	計
1 楽しかった	4	31	35
2 地域の人と交流できた	4	30	34
3 地域のことを知ることができた	1	14	15
4 地域に愛着がわいた	1	8	9
5 地域の役に立てたと感じた	3	10	13
6 その他	0	1	1
無 無回答	0	0	0
合 計	13	94	107

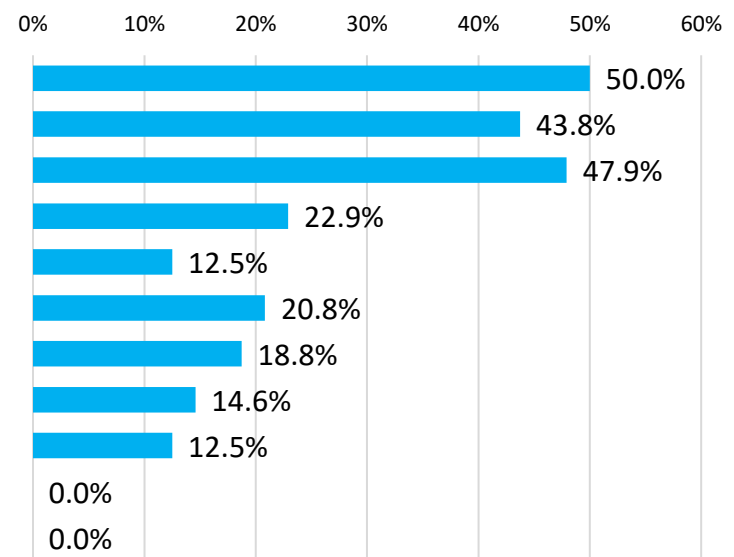


朝日地域住民意識調査 一次集計結果(中学生用)

問7 あなたが参加してみたい（参加している）地域の活動はなんですか。
（あてはまるもの全てに○）

n= 48

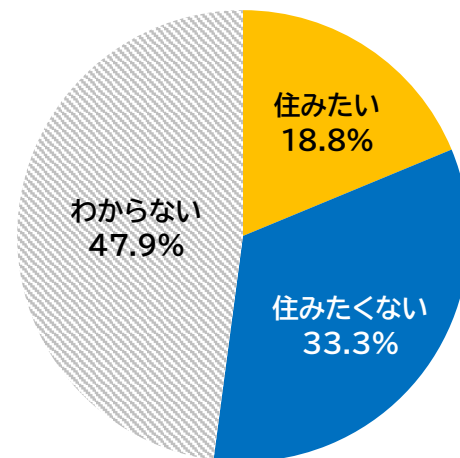
		紙	Q R	計
1	お祭りやイベントの運営補助	2	22	24
2	スポーツ・レクリエーション活動	1	20	21
3	清掃などのボランティア活動	3	20	23
4	自然体験活動	3	8	11
5	伝統芸能の練習や発表	1	5	6
6	地域の歴史や文化財を学ぶ活動	2	8	10
7	郷土料理や食文化を学ぶ活動	2	7	9
8	高齢者など他の世代の人との交流	1	6	7
9	農業・林業などの体験活動	3	3	6
10	その他	0	0	0
無	無回答	0	0	0
合 計		18	99	117



問8 将来も朝日地域に住みたいと思いますか。（○は1つ）

n= 48

		紙	Q R	計
1	住みたい	2	7	9
2	住みたくない	1	15	16
3	わからない	2	21	23
無	無回答	0	0	0
合 計		5	43	48



問9 その理由をお書きください。（自由記載）

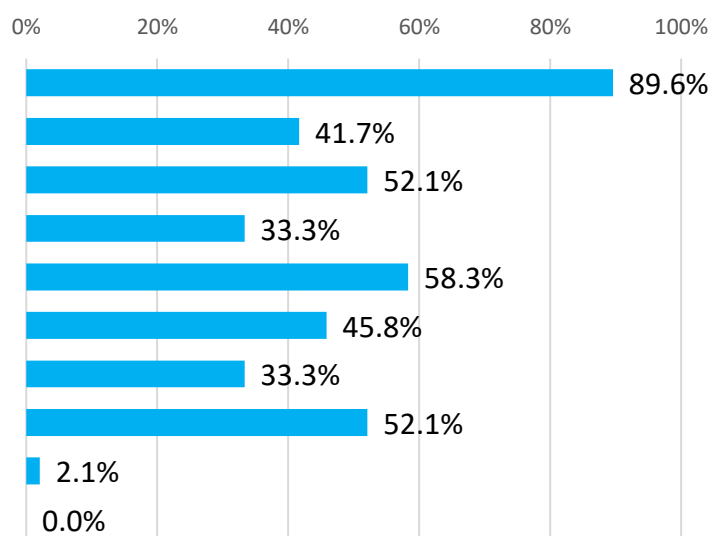
※整理・分析中のため掲載していません。

問10 あなたは10年後の朝日地域についてどのようなことが心配ですか。

（○は3つまで）

n= 48

		紙	Q R	計
1	子どもや若い人が少なくなる	5	38	43
2	同級生や友達が地域を離れてしまう	4	16	20
3	お店や買い物ができる場所が減る	2	23	25
4	バスなどの交通が不便になる	0	16	16
5	空き家が増える	3	25	28
6	除雪をする人が少なくなる	4	18	22
7	自然や景観、農地や山林が荒れてしまう	0	16	16
8	地域のお祭りや伝統行事が続かなくなる	3	22	25
9	その他	0	1	1
無	無回答	0	0	0
合 計		21	175	196



問11 10年後の朝日地域がどのような地域になってほしいと思いますか。（自由記載）

※整理・分析中のため掲載していません。

問12 地域の課題や、もっと改善してほしいと思うこと、若い世代が暮らし続けるために

必要なことなど、よりよい地域にするためのアイデアを自由に書いてください。（自由記載）

※整理・分析中のため掲載していません。

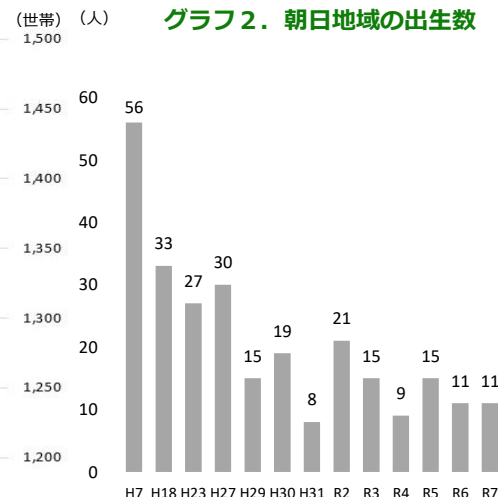
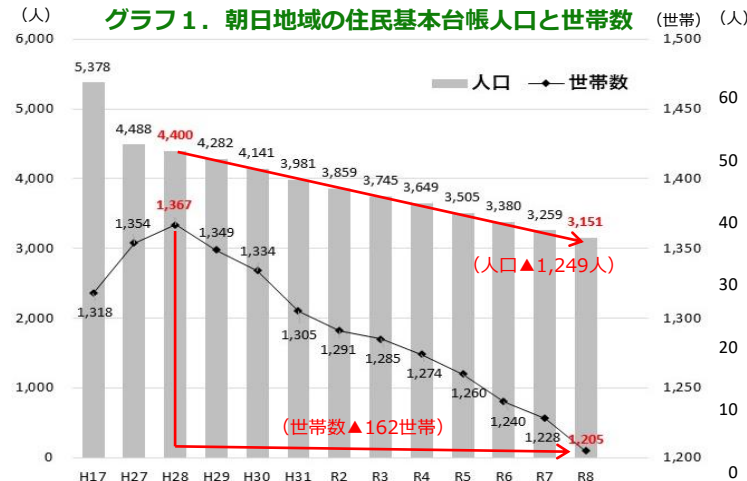
現 状

1. 過疎化・少子高齢化による人口減少

- ◆10年間（H28→R8）で人口は1,249人減少、世帯数は162世帯減少…グラフ1
- ◆令和7年の出生数11人…グラフ2 ▶▶▶ 若者世代の減少により地域活力が低下

グラフ1. 朝日地域の住民基本台帳人口と世帯数

グラフ2. 朝日地域の出生数



- ◆生産年齢人口の減少が深刻で共同作業の担い手不足
- ◆10年間で高齢化率が12.47ポイント上昇…表
- ▶▶▶ 集落機能の維持が困難
- ◆農林業従事者の高齢化と後継者不足
- ▶▶▶ 山林・農地荒廃の恐れ、鳥獣被害の増加

表. 朝日地域の年齢3区分別人口・構成比

区分	平成28年3月末現在		令和8年3月末現在	
	人口	構成比	人口	構成比
0～14歳（年少人口）	414	9.41%	219	6.95%
15～64歳（生産年齢人口）	2,341	53.20%	1,361	43.19%
65歳以上（老年人口）	1,645	37.39%	1,571	49.86%
計	4,400	100.00%	3,151	100.00%

2. 豪雪地帯という厳しい定住環境

- ◆高齢化が進行し屋根の雪下ろし作業や家屋の維持管理が困難
- ◆豪雪を要因とする転出者が増加

課 題

- 地域や農・林・観光業を支える人材育成が急務
- 定住のための生活環境整備や地域・団体・行政との協働により地域を支える仕組みづくりが必要
- 地域の“強み”をさらに活かした産業振興が必要

【取組方針】中山間地域の暮らしを守り、支える取組を推進

暮らしを守る
〈定住対策〉

- 中山間地域における定住環境の支援

暮らしを支える
〈産業振興〉

- 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興
- 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興

令和8年度 重点事業

1. 中山間地域における定住環境の支援

- ・コミュニティセンター改修事業
- ・豪雪地域雪下ろし支援事業
- ・朝日地域施設利活用検討事業
- ・かたくり温泉ぼんぼ施設管理事業
- ・朝日郷土食継承に向けた調査・研究事業
- ・住民の現状や意向を把握するアンケート調査の実施

2. 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興

- ・朝日地域山の恵み産地化事業
- ・木質バイオマス活用に向けた調査・研究事業

3. 自然、文化、風土など、地域資源を活用した付加価値の高い産業振興

- ・あさひ自然体験交流施設管理運営事業
- ・月山ソウ発掘30年記念事業

令和8年度 朝日地域振興事業

★新規・拡充事業

1 次世代へつなげる活力を育む地域コミュニティづくりの支援

- ・朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト支援事業
- ・大泉地域ビジョンスタートアップ支援事業

2 地域の実情や需要に応じた地域内交通の確保

- ・朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業

3 豪雪地帯における克雪対策への支援

- ・朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業
- ・豪雪地域雪下ろし支援事業 ★

4 地域で支え合う福祉支援体制の充実

- ・朝日地域施設利活用検討事業 ★
(健康の里ふっくら、かたくり温泉施設の利活用)
- ・かたくり温泉施設活用支援事業
- ・朝日地域フレイル予防事業

5 中山間地域の課題解決に向けたデジタル技術の活用

- ・朝日地域共創プロジェクト支援事業

暮らしを守る
〈定住対策〉暮らしを支える
〈産業振興〉

1 農地・山林保全による農林業生産活動と農村集落機能維持

- ・朝日地域山の恵み産地化事業

2 観光団体等との連携による地域資源活用の推進

- ・大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業
- ・六十里越街道魅力発信事業
- ・桧原二ノ俣峠越山道復元事業
- ・月山ソウ発掘30年記念事業 ★
- ・朝日地域観光あいのりタクシー運行事業

資料4-1

朝日地域公共交通事業

『あさひバス』・『あさひデマンドカー』の運行状況について

【概要】

あさひバス(上田沢線・大網線) … 朝・夜の2便運行。主に高校生の通学手段として利用される。

あさひデマンドカー … 日中の3便運行。主に高齢者等の買い物・通院手段として利用される。

あさひバス

運行日 平日（お盆・年末年始除く）

運行時間 6時頃・19時頃

乗降場所 朝日地域内のバス停留所

利用料金 100円～300円

あさひデマンドカー

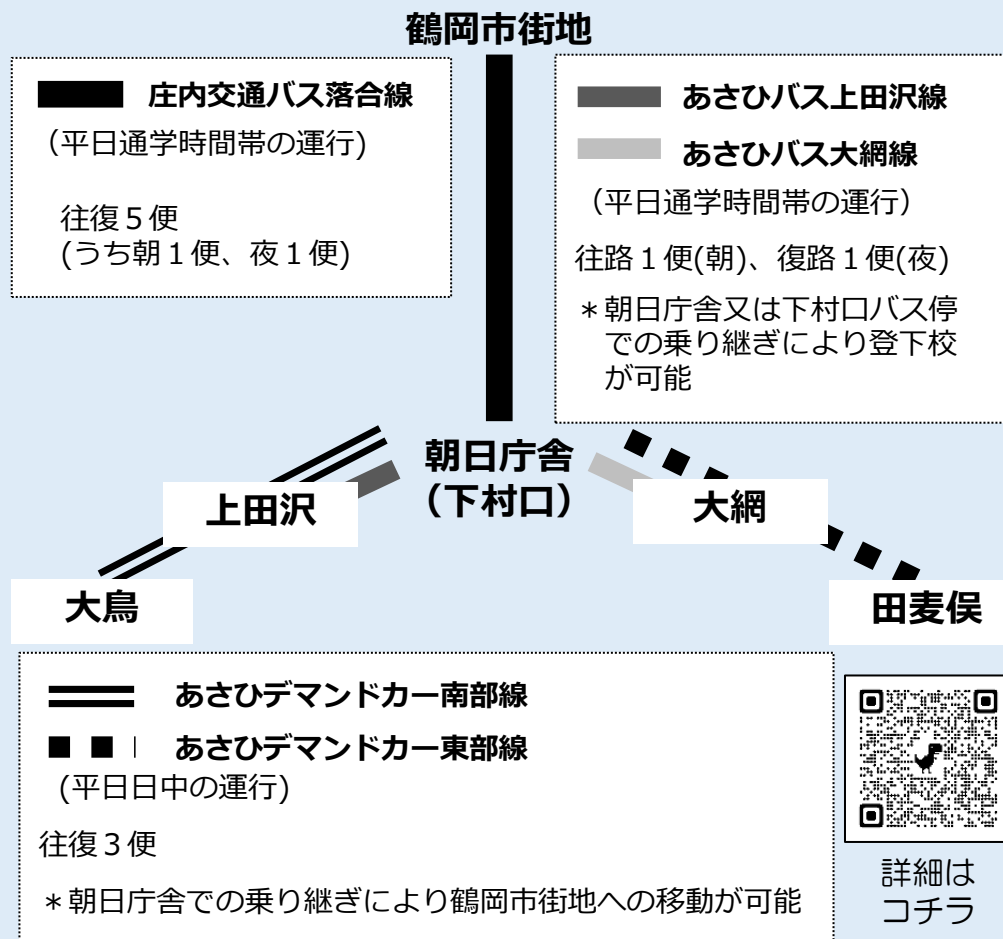
運行日 平日（年末年始除く）

運行時間 10時頃・12時頃・14時頃

乗降場所 朝日地域内の主要施設19箇所

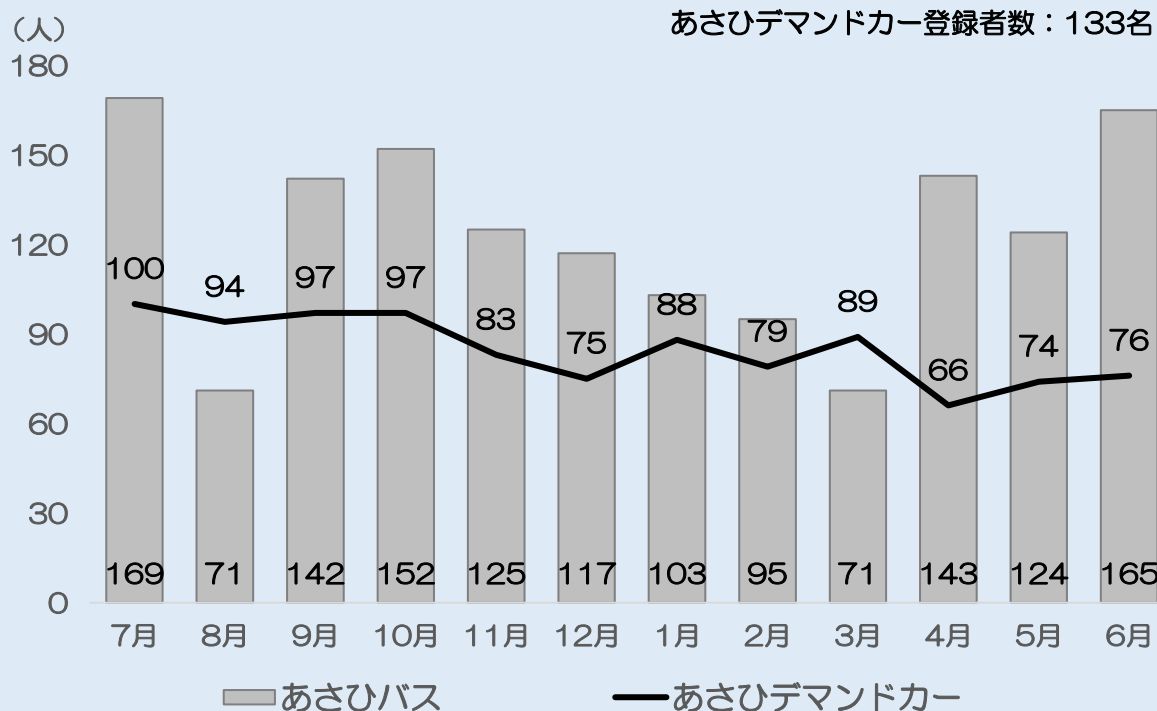
利用料金 200円又は400円

あさひバス・あさひデマンドカー路線図



『あさひバス』・『あさひデマンドカー』の運行状況について

あさひバス・デマンドカーの利用者数の推移



(内訳)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
あさひバス	タキタロウ号	69	22	57	54	37	39	25	31	24	55	58	77
	がっさん号	100	49	85	98	88	78	78	64	47	88	66	88
あさひデマンドカー	カタクリ号	100	94	97	97	83	75	88	79	89	66	74	76

ポイント

- ✓ あさひバスは夏休み・冬休み期間に利用者数が減少する傾向にある。
- ✓ あさひデマンドカーは介護予防事業で定期的に利用されている。
- ✓ あさひバスは以前運行していた庄内交通バスと比較し減少している。
- ✓ あさひデマンドカーは以前運行していた朝日地域市営バスと比較し僅かに増加している。
- ✓ 住民アンケートで回答のあった1,387名中、41名が『利用したことがある』と回答があった。

今後の取り組み

- ・ 住民への周知活動
- ・ 乗車体験ツアーの開催
- ・ スタンプカードの発行
- ・ アンケート調査
- ・ 聞き取り調査



『オールシーズンを通じた鶴岡を代表する観光拠点を目指します』



■「地域おこし協力隊」との連携

市と協力隊が連携し、GW期間中の残雪を利用した「キャンプ&スノー」を実施するなど、自然を活用したアクティビティ開発や、SNSを活用した湯殿山エリアの広告宣伝を行っています。

■スキー場の新たな利用の推進

スキー場やキャンプ場をイベント開催エリアとして活用し、新たな客層の利用拡大と収入確保を図ります。

■豊富な地域資源の活用

エリア内にある豊富な地域資源（食文化・山岳信仰・山菜・月山ダム湖・六十里越街道等）を活用し、エリア全体の交流人口の拡大に努めます。



令和8年度 朝日地域振興事業の取組状況

資料6

No	事業名	事業内容	実施主体等	予算額 (千円)	事業期間
1. 中山間地域における定住環境の支援					
1	朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業	大鳥地区住民による互助輸送の実証運行への支援	大鳥地区村づくり推進協議会への補助金	410	R6～
2	豪雪地域雪下ろし支援事業【新規】	豪雪地域の世帯が業者等に委託して実施した屋根の雪下ろし費用への支援(全市対象)	対象世帯への補助金	3,000	R8～
3	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト支援事業	令和3年度に設立したチームWaGeShoが行う、研修会やボランティア活動、朝日地域の魅力発信事業への支援	チームWaGeShoへの補助金	300	R3～
4	朝日地域共創プロジェクト支援事業	自治振興会が取組むデジタル人材育成事業、スマホ教室などのデジタル講習会開催、公式LINEでの情報発信事業への支援	朝日中央地区自治振興会への補助金	380	R5～
5	大泉地域ビジョンスタートアップ支援事業	地域ビジョンの達成に向けて実施する、森林資源活用事業、観光資源掘り起こし事業、世代間交流生きがいづくり事業などの取組への支援	大泉地域ビジョン推進委員会への補助金	300	R7～
6	朝日地域施設利活用検討事業(健康の里ふっくら、かたくり温泉施設の利活用)【新規】	隣接する「健康の里ふっくら」及び「かたくり温泉ぼんぼ」の今後の利活用の方向性に関する検討	報償費・旅費	115	R8～
7	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業	広域コミュニティ組織が行う、高齢者世帯等の玄関前除雪の取組への支援	各自治振興会への補助金	330	R1～
8	かたくり温泉施設活用支援事業	NPO法人が実施する温泉施設を活用した地域振興事業への支援	NPO法人こみっとAFCへの補助金	6,500	R6～
9	朝日地域フレイル予防事業	NPO法人が実施する、65歳以上を対象とした介護予防事業及び概ね50歳以上を対象とした生活習慣改善に取組むフレイル予防事業への支援	NPO法人こみっとAFCへの補助金	2,000	R6～
2. 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興					
10	朝日地域山の恵み産地化事業	団体が行う出荷困難な生産者からの集荷、市街地での移動販売、栽培技術研修の開催の取組、体験イベント等への支援	産直あさひ・グーへの補助金	1,200	R1～
3. 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興					
11	六十里越街道魅力発信事業	山船頭人の育成に向けた一般向けの講座や育成コース開設への支援	アルゴディア研究会への補助金	380	R4～
12	大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業	大鳥池避難小屋の敷地内に設置したStarlinkの運用委託	委託料	269	R7～
13	桧原二ノ俣峠越山道復元事業	登山道の整備など登山者受け入れのための環境整備への支援	地元団体への補助金	100	R4～
14	朝日地域観光あいのりタクシー運行事業	登山・観光シーズン中の二次交通確保の取組	あさひむら観光協会への補助金	600	R5～
15	月山ゾウ発掘30年記念事業【新規】	月山ゾウ発掘30年を契機とした記念講演会や小学生向けワークショップの開催	謝金・旅費・消耗品費・賃借料	384	R8～
(財源内訳)・地域振興基金繰入金充当 10,000千円 ・いきいき雪国やまがた推進交付金 1,500千円…豪雪地域雪下ろし支援事業 165千円…助け合い玄関前除雪支援事業 ・介護保険特別会計繰入金 1,333千円…フレイル予防事業 ・一般財源 3,270千円			事業費計	16,268	

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域大鳥地区移動支援モデル事業			
事業目的	学校、病院などの生活利便施設への交通を確保するため、地域の実情や需要に応じた、利用者の視点に立った地域内交通対策を推進する。			
事業概要	・大鳥地区内で地域ボランティアによる「互助運送」の実証試験運行に対する支援。 ・地域住民がボランティアの運転手となり、利用者を目的地まで輸送する。 【大鳥地区村づくり推進協議会に対する補助金】			
令和8年度予算額	410,000円			
事業実施年度	令和6 年度 ～			
これまでの主な事業実績	令和7年度実証運行(令和7年4月1日～令和8年3月31日)			
	・利用者数			
	4月:1名	5月:0名	6月:3名	7月:3名
	8月:2名	9月:0名	10月:4名	11月:0名
	12月:4名	1月:0名	2月:0名	3月:0名
				延べ17名

令和8年度の事業内容

- ・実証試験運行期間
令和8年4月1日～令和9年3月31日
- ・運行日・運行時間
平日の8時～16時
※土日祝、お盆期間(8/10～8/18)、年末年始(12/28～1/5)を除く
- ・乗降場所
乗り場：利用者の指定した場所から(自宅乗車可能)
降り場：大鳥地区～朝日庁舎間※
※公共交通が走らない時間帯に限定
- ・利用者
大鳥地区に居住する住民
- ・利用料金
無料 ※市補助金と中山間直接支払制度を活用



車両外観



利用の様子

取組みの成果・評価

- ・令和5年10月に廃止となった庄内交通路線バス大鳥-上田沢区間の代替手段として互助輸送を実施しているが利用の定着には至っていない。理由として自家用車を活用している世帯が多いことと時刻、行先が限定されていることが伸び悩んでいる原因と考えられる。
- ・自家用車を持っておらず、足腰が不自由な複数の方が定期的に利用をしている。利用者からは「とても便利で使いやすい。また使いたい」との意見をいただいている。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	豪雪地域雪下ろし支援事業【新規】	
事業目的	屋根の雪下ろしに係る経済的負担の軽減と、安全な雪処理作業の確保を図ることで、豪雪地域における安心した定住環境の維持・促進を目的とする。	
事業概要	豪雪地域の世帯が業者等に委託して実施した屋根の雪下ろし費用への支援(全市対象)	
令和8年度予算額	3,000,000円	
事業実施年度	令和8 年度 ～	
これまでの主な事業実績	令和8年度新規事業	

令和8年度の事業内容

- ・市内全域の豪雪地域を対象に、屋根の雪下ろしを業者等に委託して実施した世帯に対し、一定の要件を満たす場合に補助金を交付する。
- ・ひと冬に3回以上屋根の雪下ろしを実施し、年間の委託費用が10万円を超えた世帯を支援対象とし、10万円を超えた額について、1世帯あたり10万円を上限(1シーズン1回限り)として支援を行うもの。
- ・高齢者等雪下ろし費用助成を受けた除排雪作業は対象外とする。

取組みの成果・評価

- ①屋根の雪下ろしに係る経済的負担が軽減される。
- ②転落事故等のリスク低減につながり、安全な生活環境の確保が図られる。
- ③豪雪期における生活不安の軽減により、豪雪地域における安心した定住環境の維持につながる。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域若者語らいの場ありのまま未来プロジェクト支援事業
事業目的	地域課題解決に向けて主体的に取り組む若者組織の育成を支援する。
事業概要	令和3年度に立ち上がった「チームWaGeSho(わけしょ=若い人)」が行う、若者が集い語らい、地域内外との交流活動を通じてネットワーク拡大を目指す地域・人づくりを支援する。
令和8年度予算額	300,000円
事業実施年度	令和3年度～
これまでの主な事業実績	令和7年度の主な実績 ①落合河川整備事業(5月～9月) ②大鳥池登山(7月) ③笹の葉とりボランティア(8月) ④サンチュアパークキャンプ(9月) ⑤朝日みらいプロジェクト事業協力(10月) ⑥おかえりイルミネーション(12月) ⑦笹巻づくり教室(2月) ⑧月山あさひ雪まつりスタッフ協力(2月)

令和8年度の事業内容

★令和8年4月時点 WaGeSho会員数:18名

★実施した事業

①落合河川整備活動(5月～9月)

近年管理がされていない河川を整備し地域の
憩いの場を用意することで、交流できる機会を
つくることのできた。



河川整備の様子

★予定している事業

- ①大鳥池登山
- ②笹の葉とりボランティア
- ③朝日みらいプロジェクト事業協力
- ④おかえりイルミネーション
- ⑤月山あさひ雪まつりスタッフ協力

取組みの成果・評価

- ・活動継続により認知度が高まってきている。(令和7年8月広報つるおかに記事掲載)
- ・メンバーそれぞれが朝日地域の特徴や魅力を発信できるような企画や活動をしており、地域で何かイベントを行う際には『WaGeShoへ』という意見も多くなっている。
- ・SNS等を活用し、地域外の出身者も取り入れながら、直接活動に参加できなくても間接的に関わることができる仕組みを構築して若者同士のネットワークを形成している。
- ・若者視点による朝日らしいイベントを企画しており、朝日の魅力発信に大きく貢献している。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域共創プロジェクト支援事業											
事業目的	中山間地域の課題解決に向け、デジタル技術を活用した市民サービスの提供、地域づくり活動での活用支援、地域デジタル人材の育成を推進する。											
事業概要	朝日中央地区自治振興会が取り組む、デジタル技術を活用した以下の事業展開に対応する支援。 ・地域住民によるデジタル人材の育成 ・地域住民を対象にしたスマホ講習会の開催 【朝日中央地区自治振興会に対する補助金】											
令和8年度予算額	380,000円											
事業実施年度	令和5 年度 ～											
これまでの主な事業実績	■デジタル人材育成研修						■集落・団体等を対象にした出張スマホ教室					
		R5	R6	R7		R5	R6	R7		R5	R6	R7
	開催回数	6回	3回	4回	団体数	4団体	4団体	6団体	参加者数	40人	45人	43人
	受講者数	36人	36人	19人	講師協力(延べ)	20人	35人	24人				

令和8年度の事業内容

【R8.7までの事業実施状況】

- デジタル人材育成及び支援体制の構築
地域住民を対象にしたデジタル人材育成講習の開催
・5/21 朝日中央地区自治振興会 18名参加
・6/26 大網ヤンババ 8名参加
- 地域住民を対象としたスマホ講習会の開催
デジタル技術の活用に苦手意識を持つ地域住民を対象に、地域内で育成するデジタル人材によるスマホ講習会の開催
・6/26 大網長生会 5名参加 講師協力3名
・7/5 産直あさひ・グー 8名参加 講師協力6名
・7/24 野中自治会 9名参加 講師協力8名
- 公式LINEの運用支援

6/26大網ヤンババ



7/24野中自治会



取組みの成果・評価

- ・デジタル機器やデジタル技術を活用したサービスなど気軽に地域で学び合える環境づくりを進めることができた。
- ・スマホ講習会の開催により高齢者を中心にデジタル活用を身近に感じてもらう機会の創出と、地域の若者との世代を超えた交流が図られた。
- ・地域課題の解決に取り組む「朝日地域共創プロジェクト」への積極的な参加を促し、地域の多様な人材が活躍できる環境づくりにもつなげていく。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	大泉地域ビジョンスタートアップ支援事業
事業目的	将来的な大泉地域の持続的発展に向け、地域資源の活用や地域住民の生きがいづくりなど、地域の活性化に向けた取組が求められていることから、大泉地域ビジョン策定委員会により令和6年3月に「大泉地域ビジョン」が制定された。 このビジョンの具現化を進め、中山間地域の暮らしを楽しみながら住み続けられる地域として発展することを目的とする。
事業概要	大泉地域ビジョン推進委員会が行う地域資源を活用した農林産品の研究開発や観光資源の磨き上げと情報発信の取り組みに対し、補助金を交付する。
令和8年度予算額	300,000円
事業実施年度	令和7年度～
これまでの主な事業実績	R7事業実績 ○畑作寺子屋(3回実施、延べ参加者39名) 外部講師による技術的講習とともに、参加者同士の情報交換も活発に行われ、世代を超えたコミュニケーションの醸成が図られた。 ○わらび成分分析報告会(参加者30名) これまで先人より口伝えされていた品種ごとの特性(色の違い、粘性や成分など)が、数値によって明らかになった。また、分析内容のリーフレットとパネルを作成し、パネルを大平わらび園へ掲示した。 ○先進地視察研修(参加者14名) 小学生の体験学習を通じ、地元の自然に親しむ心を醸成し地元回帰につなげる取組や、具体的な山林管理の方法について知ることができた。

令和8年度の事業内容

- ・畑作寺子屋…継続実施(4回開催予定)、収穫した作物を使った弁当づくり(高齢世帯への配食)
- ・森林活用事業…山菜・きのこの等の栽培研修講座
- ・わらびの活用事業…わらびの早期・晩期による繊維質分析及び報告会、わらびのポット苗栽培
- ・地域資源活用…朝日軍道整備、トレッキングイベント開催

わらび成分分析パネル



R8.4.30畑作寺子屋(座学)



取組みの成果・評価

- ・当初の計画どおりに実施できなかった事業もあったが、メンバー等による新たなアイデアを活かし、地域振興に資する取組を展開している。
- ・地域住民にも徐々にではあるが取組みが浸透しつつある。特に畑作寺子屋はJAの指導員による講習が非常に好評であり、開催回数の増加希望があった。他の取組も含め、大泉地域の振興の一助になっている。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域施設利活用検討事業(ふっくら、かたくり温泉施設の利活用) 【新規】
事業目的	隣接する「健康の里ふっくら」及び「かたくり温泉ぼんぼ」の今後の利活用の方向性を決定する。
事業概要	温泉再開が見込めない状況を踏まえ、両施設の将来的な利用や運営方法等について、現在の施設利用団体の意向や地域住民のニーズを把握するために意見聴取を行う。 【施設の現状】 ・健康の里ふっくら(平成12年整備:直営) 老人クラブ活動、子育て支援事業、食改や健康づくり事業等で利用 ・かたくり温泉ぼんぼ(平成5年整備:NPO法人運営) 令和9年3月末までNPO法人こみっとAFCへ使用貸借契約中 フレイル予防事業やイベント会場として利用 (令和8年度かたくり温泉施設活用支援事業補助金6,500千円 施設運営に必要な光熱水費と地域振興事業実施を支援)
令和8年度予算額	115,000円
事業実施年度	令和8 年度 ~
これまでの主な事業実績	令和8年度新規事業

令和8年度の事業内容

意見聴取を想定している関係者
 老人クラブ、子育て支援センター、食生活改善推進委員、保健委員会、地域包括支援センターあさひ、NPO法人こみっとAFC、地域住民代表者 など

取組みの成果・評価(期待される成果)

・地域の合意を踏まえた利活用方針の決定

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域助け合い玄関前除雪支援事業							
事業目的	雪による経済的及び精神的負担を軽減する克雪対策の取組を進め、定住環境の整備を推進する。							
事業概要	広域コミュニティ組織が行う自力除雪が困難な高齢者世帯等の玄関前除雪に対する支援 【広域コミュニティ組織に対する補助金】							
令和8年度予算額	330,000円							
事業実施年度	令和元 年度 ～							
これまでの主な事業実績	【支援実績】							
	年度	南部地区		東部地区		中央地区		計
		グループ数	世帯数	グループ数	世帯数	グループ数	世帯数	グループ数 世帯数
	R1	2	5	2	6	-	-	4 11
	R2	3	10	2	3	-	-	5 13
	R3	4	11	2	3	-	-	6 14
	R4	3	8	2	3	-	-	5 11
	R5	3	8	2	3	-	-	5 11
	R6	3	6	2	3	-	-	5 9
	R7	3	6	2	3	2	4	7 13
	合計	21	54	14	24	2	4	37 82

令和8年度の事業内容

広域コミュニティ組織による、除雪機を所有する支援者と自力での除雪が困難な高齢者世帯等をグループ化して行う玄関前除雪に係る経費を助成する。

補助対象経費	補助金の額
1 事業期間中の除雪機械に係る自賠責保険料及び任意保険料	全額(上限4月)
2 除雪機械の修繕料	全額(上限2万円)
3 燃料費(要支援者の除雪に係る部分に限る。)	全額(上限2万円)



取組みの成果・評価

- ①広域コミュニティ組織を実施主体とした、地域内互助による高齢者世帯等の支援が継続して行われている。
- ②グループ数・世帯数が固定化しつつあり、より多くの支援ができるような工夫が必要である。
- ③優良事例や地域ニーズ等を参考にしながら、今後の事業展開について検討していく。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	かたくり温泉施設活用支援事業
事業目的	温泉施設を活用した事業を支援し、地域主体による健康福祉増進と地域支え合い体制の構築につなげる。
事業概要	NPO法人が実施する温泉施設を活用した地域振興事業への支援（施設運営にかかる光熱水費・燃料費及びイベント経費の支援）
令和8年度予算額	6,500,000円
事業実施年度	令和6年度～
これまでの主な事業実績	R7年度事業実績 ○温泉入浴事業 5月18日から源泉設備不具合により営業休止 ・営業日数 44日間（R7.4.1～5.17／第1・3水曜日休館） ・利用者数 6,379人（大人6,153人、子ども226人） ・長期休業に伴う回数券の払い戻し対応実施 ○地域振興に資する事業 ・7月27日（日）「月山ダムの集い」への参加協力（参加人数：250名） - 子ども対象ゲームブースの運営 ・2月20日（金）～21日（土）あさひ竹あかり【竹灯籠点灯】（参加人数：120名） 【竹あかり関連事業】 12月19日（金）～20日（土）竹灯籠用竹の切り出し、竹灯籠づくり準備 1月 6日（火）～2月13日（土）竹灯籠づくり作業（協力者数：16名） 1月18日（月）竹灯籠づくり講座（参加人数：18名） 2月23日（月）～3月31日（火）竹灯籠展示・販売 2月28日（土）地元老人クラブ対象竹灯籠づくり講座（参加人数：8名）



令和8年度の事業内容

【温泉施設を活用した事業】

- ・フレイル予防事業
- ・「ふっくら」を一体的に活用した「あさひ“にぎわい”市」の開催（フリーマーケット、バザー、地場産品販売、竹あかりイベント 他）
- ・竹灯籠づくり教室などの工芸講座
- ・レクリエーション用具の貸出



取組みの成果・評価

温泉事業が休止しており、サウナ等の活用も集客が見込めず行えていない。
当初の貸出期間終了後、R9年度以降の運営について検討が必要となっている。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域フレイル予防事業				
事業目的	・高齢者に対する介護予防事業の充実により、年齢を重ねても住み慣れた地域での自立した日常生活を実現する。 ・介護予防事業への参加を目的とした定期的な外出機会が増えることにより、高齢者の社会参加が促進され、生きがいづくり、居場所づくり、地域支え合いの仕組みづくりを推進する。 ・高齢期を迎える前の年代からフレイル予防に取り組む人を増やし、地域住民の健康寿命延伸が図られることで、要介護認定率の低下を目指す。				
事業概要	65歳以上を対象とした介護予防事業及び概ね50歳以上を対象としたフレイル予防事業を実施する事業者へ補助金を交付する。				
令和8年度予算額	2,000,000円				
事業実施年度	令和 6 年度 ～				
これまでの主な事業実績	事業名	項目	R6	R7	
	65歳以上対象	延べ参加者数（人）	439	384	
	いきいきぼんぼ	実施回数（回）	32	33	
	50歳以上対象	延べ参加者数（人）	434	811	
	ぼんぼ健康教室	実施回数（回）	44	73	

令和8年度の事業内容

令和8年度 朝日地域フレイル予防事業計画																
対象年齢	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考	
65歳以上 いきいきぼんぼ	① いきいきぼんぼ	2	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	36回	金曜日9:30～15:00	
概ね 50歳以上 ぼんぼ健康教室	② あさひスッカリ教室 講師 佐藤しおり先生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12回	水曜日10:00～11:30	
	③ からだメンテナンス教室 講師 澤田美佳先生	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	18回	木曜日10:00～11:30	
	④ ワナゲ道場	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24回	月曜日13:30～15:30	
	⑤ ヨガ教室 講師 美々ヨガ・クー インストラクター(交代制)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12回	あさひスポーツクラブ主管 水曜日19:15～20:15	
	⑥ コンディショニング教室 講師 澤田美佳先生	1	1	1			1	1	1	1				7回	あさひスポーツクラブ主管 木曜日19:15～20:15	
	⑥ チャレンジスポレク教室 講師 あさひスポーツクラブ			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10回	あさひスポーツクラブ主管 グランドゴルフ、モルック、ポッチャ、 バドミントン、ビリヤード、レクリエーション	
	⑦ ノルディックウォーキング 講師 あさひスポーツクラブ							1						1回	あさひスポーツクラブ主管	
	⑧ ドライフラワーアレンジメント教室 講師 渡部小枝さん								1	1				2回	あさひスポーツクラブ主管	



いきいきぼんぼ



あさひスッカリ教室



コンディショニング教室

取組みの成果・評価

・「いきいきぼんぼ」参加者を対象としたアンケート結果では、「ここで知り合った人と仲良くなって毎回会うのを楽しみにしている」、「みんなでおしゃべりしながら弁当を食べるのが楽しみ」など、事業を通じたコミュニティが形成され、高齢者の社会的孤立を防ぐことにつながっている。

・あさひスポーツクラブと連携し実施したフレイル予防事業への参加が、定期的な運動に継続して取り組むきっかけとなり「階段を使うようになった」、「意識して歩数を増やすようになった」など、生活習慣改善の意識醸成につながっている。

・参加者が固定化しつつあるため、事業周知に力を入れ新規参加者の獲得を目指す。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域山の恵み産地化事業
事業目的	中山間地域である朝日地域の農林業、特産林産物の持続的な振興及び地域の活性化を図る。
事業概要	山間部からの農産物の集荷、産直を核とした販売、市街地への移動販売などにより生産者の意欲、所得の向上、市内の買物弱者の負担軽減、販路拡大につながる取組みに支援する。
令和8年度予算額	1,200,000円
事業実施年度	令和元 年度 ～
これまでの主な事業実績	産直あさひ・グーの取組みに補助 ・出荷手段のない中山間地域の生産者への集荷と販売、市街地での移動販売等の取組み ・栽培技術の研修会開催 ・地域で採れる特産の体験イベント開催

令和8年度の事業内容

- ・出荷手段のない中山間地域の生産者への集荷と販売、市街地での移動販売等の取組み
- ・栽培技術の研修会開催
- ・地域で採れる特産の体験イベント開催

取組みの成果・評価

市街地への移動販売について、朝日地域から届けられる商品は良質な物が多いと毎回楽しみにしている固定客も多いため、買い物弱者の負担軽減等には一定の成果があると考えられる。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	六十里越街道魅力発信事業
事業目的	六十里越街道の魅力を更に広く効果的に情報発信する取組や、地域の歴史的資源を次世代へ伝える取組への支援し、誘客を促進する。
事業概要	山船頭人育成プロジェクトを開催し、六十里越街道に関わる新たな担い手の確保に努める。また、六十里越街道弁当の開発により、話題性をもって六十里越街道を目にする機会を増やす取組について支援を行う。 【アルゴディア研究会、あさひむら特産品開発協議会への補助金】
令和8年度予算額	380,000円
事業実施年度	令和4 年度 ～
これまでの主な事業実績	・山船頭人育成プロジェクト 山船頭人コースと入門講座共に新規の方も参加し、新たな担い手育成への一歩を進める事が出来た。 【R7講座参加者 山船頭人育成コース(座学+実習)4名、入門講座(座学のみ、3回+補講) 延べ68名】 ・六十里越街道弁当の開発 DEGAM受託の環境省事業等と連携しながら、試作品を作成し、様々な場面で利用してもらいながら改良を重ねた。開発元の産直あさひグー以外にも声をかけ、佐藤鮮魚店が魚屋の特徴を生かした弁当を開発することが出来た。 【R7試作した六十里越街道弁当の数:264個】

令和8年度の事業内容

1. 未来の山船頭人育成プロジェクト
 - ・山船頭人育成にむけて、六十里越街道に関する講座を開催することで、六十里越街道への理解と関心を高める。
 - A. 山船頭人コース(全7回)…入門講座(座学)+街道歩きの現地学習(実技)
 - B. 入門講座(全3回+修了式)…座学のみ
 - ・講座の様子を一部アーカイブし、受講し当日来れなかった人も学べるようにする。
 - ・アーカイブを残していくことで、山船頭人のノウハウを蓄積し、育成カリキュラムの構築を通じて後世に伝える事ができるようにする。
2. 「六十里越街道弁当」の開発
 - ・あさひむら特産品開発協議会に依頼し、六十里越街道弁当の普及を図る。
街道歩き等のより多くのイベントで提供できるよう、PRを行う。
 - ・他の店舗でも提供してもらえるように働きかけを行う。

取組みの成果・評価

・コロナ禍で落ち込んだ入込数の回復、インバウンドに向けた取組を推進し、魅力ある観光資源として発信するために保全活動の担い手や街道ガイドの人材確保の取組は単年度では成果が表れにくいため、内容を見直ししながら継続した支援が必要なことから、事業期間を令和8年度まで延長する。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	大鳥池避難小屋衛星通信実証実験事業
事業目的	大鳥池避難小屋の敷地内に衛星通信機器を設置することで、Wi-Fi環境を整備し、朝日連峰登山客の安全と利便性を確保する。 副次的に、「東北初」避難小屋への設置という話題性を活かし大鳥池、以東岳登山のPRを行い、登山者の増加による関係人口の拡大を目指す。
事業概要	スペースX社が提供するStarlink(スターリンク)を設置し、圏外であった大鳥池避難小屋敷地(周囲約50m圏内)にインターネット環境(Wi-Fi環境)を整備し、朝日連峰登山者の安全と利便性を確保する実証実験を行う。
令和8年度予算額	269,000円
事業実施年度	令和7年度～
これまでの主な事業実績	- Starlink本体及び付属品の購入 落札者:KDDIまとめてオフィス株式会社 山形支店 - Starlink運搬・設置・運用 委託先:自然公園管理員 佐藤 義幸 氏 衛星通信機器の歩荷(7月3日)、設置後の日常的な機器の管理等の事務 - 各媒体で避難小屋のStarlink設置に関する広報、宣伝 チームWaGeShoに依頼し、WaGeSho大鳥池登山の際に、LINE電話で、麓の大鳥地区住民や自宅で待機しているWaGeShoのメンバーと会話できるか実験を行った。(7月5日) 【R7WiFi利用者実績:74名、実質的な管理期間2か月半】

令和8年度の事業内容
・継続して試験運用を実施し、利用状況等を分析し検証する。 ・利用料の徴収など、自走できる仕組みの検討を行う。 【観光物産課(7-1-4-30-1)観光地美化整備事業に付替え】

取組みの成果・評価
・運搬について、残雪が多く困難な面もあったが、受託者の自然公園管理員の力量により、安全に運搬することが出来た。 ・簡易に連絡が取れることにより、登山者の安全がより一層確保される。 ・東北地方初、避難小屋への設置という話題性をPRすることによって、利用者の増加による関係人口の拡大が図られる。 ・携帯電話キャリア大手の「スターリンクダイレクト」の相次ぐサービス開始によって、登山中に携帯電話の通信使用が限定的に可能になったため、その推移を見守りながら今後の方向性を検討する。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	桧原二ノ俣峠越山道復元事業
事業目的	・登山道の整備を実施し、登山者を受け入れる。 ・古道復活による登山者の増加や、イベントの開催等による地域活性化をはかる。
事業概要	登山道利用を目指し、関係団体が行う刈払い等を支援する。 【地元団体への補助金】
令和8年度予算額	100,000円
事業実施年度	令和4 年度 ～
これまでの主な事業実績	令和4～7年度 各100,000円交付 ①令和7年9月23日 山道草刈り作業実施 ②令和7年11月12日 スタディツアー実施   ①草刈り作業 ②スタディツアー

令和8年度の事業内容

・桧原二ノ俣峠越山道復元協議会が実施する草刈り等の作業に対し、補助金を交付する。草刈り等を行うことで、山道の整備を行い、登山者の受け入れ態勢を整えていく。

取組みの成果・評価

本事業において、荒廃した山道整備が図られ、かつて存在していた大鳥地域から新潟県山熊田地域間の山越えルートが将来的に開通されることにより、登山者や歴史文化に関心がある人々の誘客が期待でき、地域の新たな観光資源の創出を図ることができる。令和7年度には、東京からスタディツアーで来た中学生ら6名と桧原林道を散策し、トレッキングイベントの開催に向けた一歩となった。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	朝日地域観光あいのリタクシー運行事業
事業目的	観光需要が集中する夏季に観光客の二次交通を確保し誘客増加を図る。
事業概要	あさひむら観光協会が実施する、夏季における観光客の二次交通を確保するための試験運行へ支援を行う。 【あさひむら観光協会への補助金】
令和8年度予算額	600,000円
事業実施年度	令和5 年度 ～
これまでの主な事業実績	タクシーの相乗り制度を活用した「朝日地域観光あいのリタクシー運行事業」を実施した。 【令和7年度】 ・7月11日(金)から10月13日(月)まで、47日間の計画 →運行可能日数31日間 ※ 豪雨による通行止めにより8月8～9日は運休。市道泡滝大鳥線の災害復旧作業に伴う通行止めにより、9月19日以降は運休及び運行中止。 ・運行日は金・土・日・祝祭日 ・利用料についてR6年度同様「時間制(貸し切り)」での実施をすることによって本格運行に向けたノウハウの蓄積を図る。 【実績 R5:(1日2便)乗車人数44名、運行回数21回、運行した日数18日 ／予定38日間、システム利用者99名 R6:(1日1便)乗車人数30名、運行回数14回、運行した日数13日 ／予定47日間、システム利用者数115名 R7:(1日1便)乗車人数28名、運行回数13回、運行した日数11日 ／予定47日間、システム利用者数135名】

令和8年度の事業内容

令和8年度も引き続き実施することで、登山者の二次交通確保・誘客増加を図る。
令和8年度以降は、登山者の二次交通の確保について、全市的な観光二次交通関係事業との調整をしていく。
【観光物産課(7-1-4-75-1)鶴岡観光地域づくり推進事業に付け替え】

取組みの成果・評価

豪雨などの悪天候による運休やキャンセルが相次ぎ、運行本数が13便と少なかったが、予約システム利用者数が増加するなど、朝日地域への観光誘客と登山者の二次交通確保の要望に応えることができ、地域の活性化につなげることができた。鶴岡市内の旅客サービス運行事業者と連携し誘客促進することで、地域経済や観光振興など多面的に地域活性化が図られた。

令和8年度 朝日地域振興事業

事業名	令和8年度鶴岡市月山ゾウ発掘30周年記念事業
事業目的	月山ゾウ発掘30周年を記念した事業を展開することで朝日地域への来訪者を増やし、朝日地域の観光への理解を深め地域経済の活性化を目指す。
事業概要	朝日地域の田麦俣地区で発掘された「月山ゾウ」の化石が地域にとっての資産であることをPRするため、記念事業を契機に市内外に向けて更なる周知をはかり、地域愛の醸成及び地域振興につなげていく。
令和8年度予算額	384,000円
事業実施年度	令和8年度～
これまでの主な事業実績	単年度事業のため実績はなし

令和8年度の事業内容

- ・30年前に発掘された貴重な長鼻類の進化を表す「月山ゾウ」の展示を、月山あさひ博物村内文化創造館において充実させ、朝日地域へ多くの来訪者を呼び込む。
- ・日本の長鼻類の第一人者である国府田 良樹(こうだ よしき)氏による記念講演を行い、出羽庄内国際村において朝日地域を代表する観光資源である「月山ゾウ」の化石のPRを行うことで、その希少性と学術的価値を市内外へさらなる周知をはかる。
- ・国府田氏による文化創造館探検ツアー及びワークショップを講演会同日に行い、児童の夏休みの自由研修素材として活用してもらうとともに、朝日地域の豊かな自然文化に対する理解をはかる。

※国府田 良樹(こうだ よしき)氏…理学博士、ミュージアムパーク茨城県自然博物館名誉学芸員。日本古生物学会で長鼻類の論文を発表している、長鼻類研究の第一人者。2002年から数回にわたり月山ゾウの発掘団の指揮を執り、田麦俣地区での化石の発掘に貢献した。

取組みの成果・評価

朝日地域の観光への理解を深めるとともに、地域の経済の活性化及び地域振興への貢献が期待できる。